



Information-technology
Promotion
Agency, Japan

2016/3/9 JaSST'16 Tokyo テストの教育セッション
「テストエンジニアの育成・教育
～若手テストエンジニアの成長を促そう！～」



i Competency Dictionary

「i コンピテンシ ディクショナリの概要」

独立行政法人情報処理推進機構
IT人材育成本部 HRDイニシアティブセンター
奥村 有紀子

独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) とは



- ◇ 経済産業省所管の独立行政法人
- ◇ IT産業の健全な発展を推進し、国民すべてに“頼れるIT社会”の実現を目指す

* : Information-technology Promotion Agency, Japan



- i コンピテンシ デクシヨナリ (iCD) とは
- iCDの詳細
- iCDの活用方法
- <参考>iCDに関する情報



i Competency Dictionary

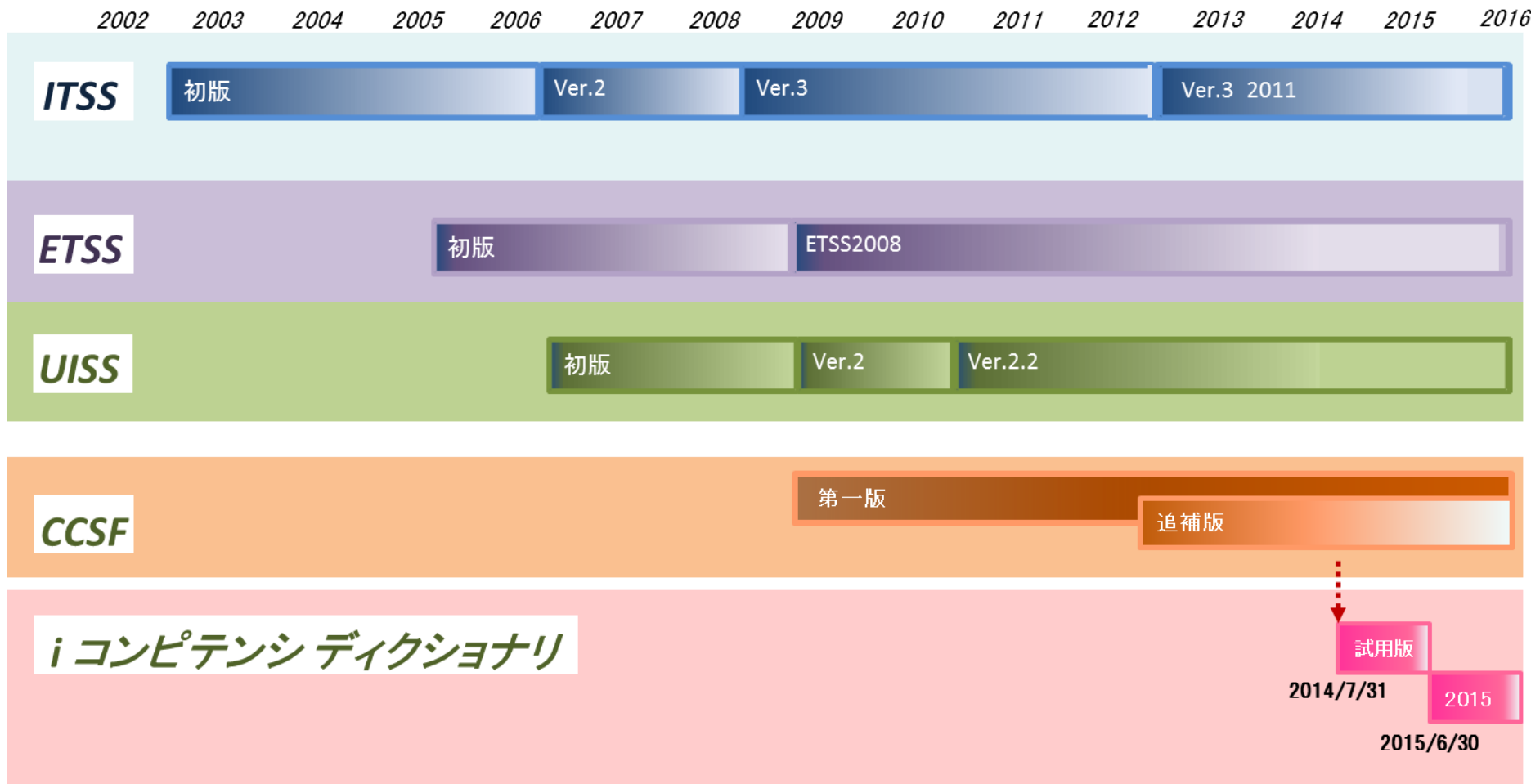
※
「i コンピテンシ デクシヨナリ」
「i Competency Dictionary」
「iCD」およびロゴは、
IPAの登録商標です。

i コンピテンシ ディクショナリとは

スキル標準と情報処理技術者試験

	情報処理技術者試験	ITスキル標準 (ITSS)	組込スキル標準 (ETSS)	情報システムユーザー スキル標準 (UISS)	共通キャリア・スキルフレームワーク (第一版・追補版) (CCSF)
公開時期	1969年	2002年12月	2005年5月	2006年6月	2008年10月・2012年3月
実施主体	IPA／情報処理技術者試験センター (JITEC)	IPA／ITスキル標準センター	IPA／ソフトウェア・エンジニアリング・センター (SEC)	日本情報システムユーザー協会 (JUAS)	IPA/HRDイニシアティブセンター
目的・位置づけ	産業界の情報化人材に必要な知識、技術、能力を明確にし、業務を遂行するために必要な知識、技術、能力を保有しているかを明確化する。	各種IT関連サービスの提供に必要なとされる能力を明確化・体系化した指標であり、産学におけるITサービス・プロフェッショナルの育成・教育のために有用な共通枠組み。	組込ソフトウェア開発に関する最適な人材育成、人材の有効活用を実現するための指標。	情報システムを活用するユーザー企業／組織において必要となるスキルをシステムの企画・開発から保守・運用・廃棄に係るまでのソフトウェアライフサイクルプロセスに基づき体系化した指標。	3つのスキル標準について、人材類型と人材像を共通で定義、試験のレベルと紐づけたもの(第一版) 3つのスキル標準をタスク・モデル、スキル・モデル、人材モデルで整理しなおし、共通化したもの(追補版)
主とする対象	ベンダー、ユーザー	ベンダー	組込エンジニア	ユーザー	ベンダー／ユーザー／組み込みエンジニア
切り口	人材(試験職種)	人材(キャリアフレームワーク)	技術(スキルフレームワーク)	組織機能と業務	タスク・スキル・人材像
構造	各試験区分毎のスキル標準 情報処理技術者スキル標準 システムアナリスト 1. 概 要 1 2. 主要業務 4 3. スキル基準 1.0 4. 知識基準 2.7 2009年12月25日改定 2020年1月19日改定 発行団体：IPA、情報処理技術者試験センター 情報処理技術者試験センター	スキルディクショナリー	キャリアフレームワーク	キャリアフレームワーク	タスクモデル 人材モデル タスクモデル = 「仕事」を定義し、求められる知識や技術・能力を「タスク」として整理したもの スキルモデル = 「仕事」を行うための「能力」を定義し、求められる知識や技術・能力を「スキル」として整理したもの 人材モデル = 「業務分野の要求」に応じた「タスク」の遂行に必要な知識や技術・能力を「人材像」として整理したもの CCSF

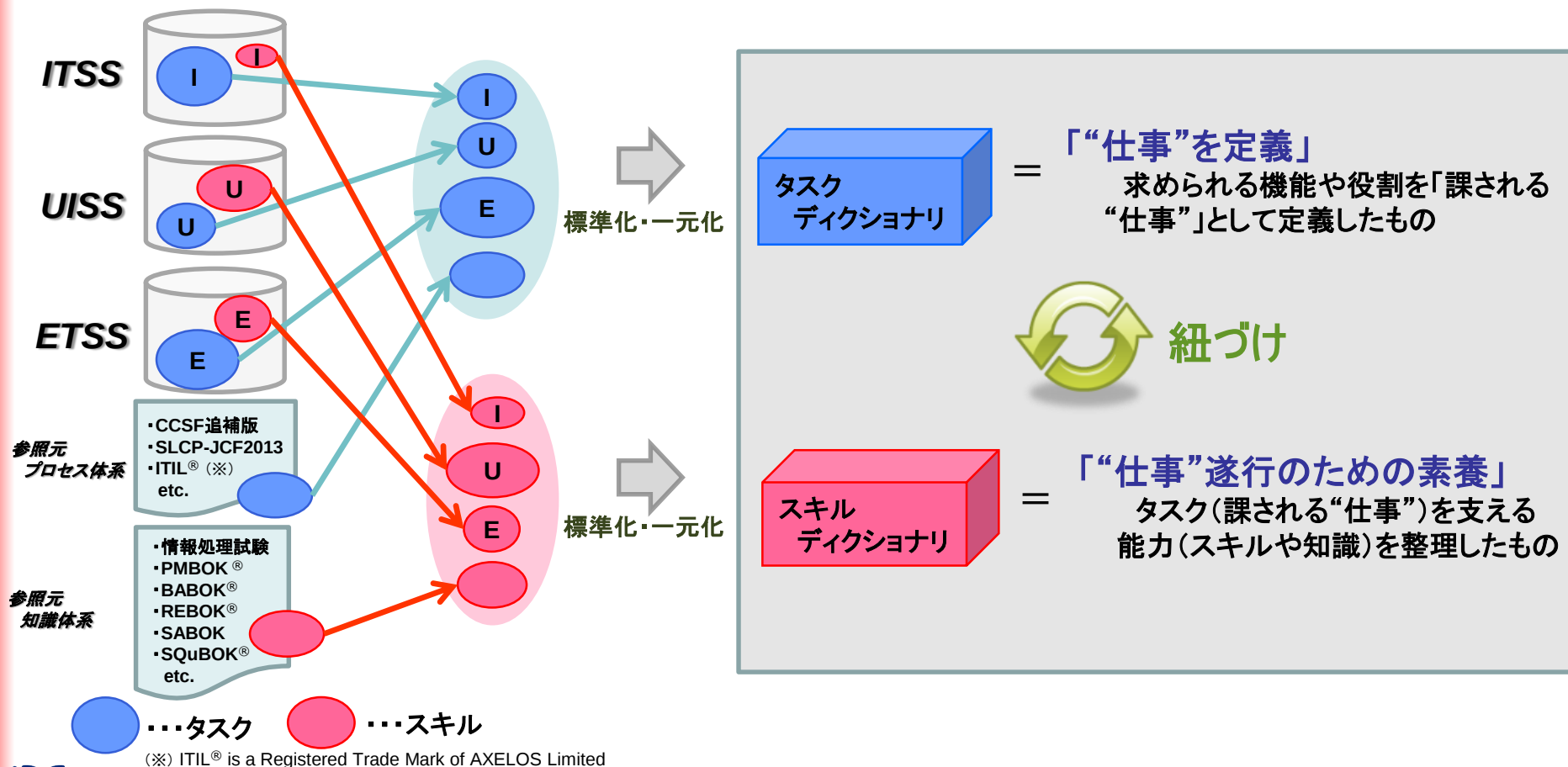
3スキル標準の改訂と展開



i コンピテンシ ディクショナリ(iCD)とは

i コンピテンシ ディクショナリ(iCD)は、企業においてITを利活用するビジネスに求められる業務(タスク)と、それを支えるIT人材の能力や素養(スキル)を「タスクディクショナリ」、「スキルディクショナリ」として体系化したもの。

IPAは、2014年7月31日にiCDの試用版を公開、パブリックコメントや産業界における実証実験などを踏まえ、2015年6月30日にはその正式版となる「i コンピテンシ ディクショナリ2015」を公開。



- IT業務に関するタスクとスキルの辞書
 - 「標準」ではなく、「ディクショナリ」
- 業務＝タスクで評価する
 - いままでのスキル標準は、スキルで評価していた
 - スキルは業務状況を見るには、間接的指標でしかない
 - 業務の状況を直接知るなら、タスクで評価
- タスクの実行能力を向上する手段の一つとして、スキルを身につける

i コンピテンシ ディクショナリの詳細

i コンピテンシ ディクショナリの構成

タスク構成図

タスクディクショナリの俯瞰図



A hierarchical diagram showing the structure of the Task Dictionary. It starts with 'Task Major Classification' at the top, branching into 'Task Medium Classification', which further branches into 'Task Minor Classification'. Each level is represented by a box with a list of tasks below it.

タスクプロフィール

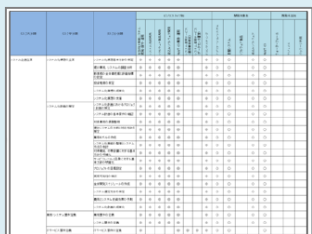
タスクの用途や、目的別に
参照できるインデックス集



A table with multiple columns and rows, serving as an index for task profiles. It lists various tasks and their corresponding profile sets.

タスクプロフィール ×タスク対応表

各プロフィールに紐づくタスク
セットを参照できる対応表



A large table mapping task profiles to specific task sets. It has multiple columns for different profiles and rows for the corresponding task sets.

タスクディクショナリ

タスク一覧

タスク大分類

組織(に求められる機能)

タスク中分類

組織(の業務)

タスク小分類

組織/個人(の業務)

評価項目

個人(の業務の評価項目)

スキルディクショナリ

スキル一覧

スキルカテゴリ

(スキル分類)

スキル分類

(スキル分類)

スキル項目

個人(に求められる能力)

知識項目

個人(に求められる知識)

スキル構成図

スキルディクショナリの俯瞰図



A hierarchical diagram showing the structure of the Skill Dictionary. It starts with 'Skill Category' at the top, branching into 'Skill Classification', which further branches into 'Skill Item'. Each level is represented by a box with a list of skills below it.

職種一覧

代表的職種を定義した表



A table listing representative jobs and their corresponding skill requirements. It includes job names and the skills needed for each.

職種×スキル対応表

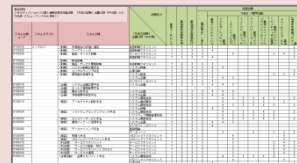
職種とスキルの対応表



A large table mapping jobs to specific skill sets. It has multiple columns for different jobs and rows for the corresponding skill sets.

情報処理技術者試験 ×スキル対応表

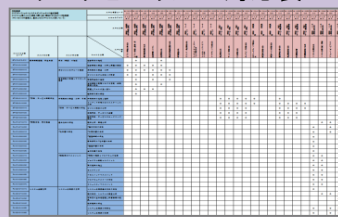
午前試験出題分野と
スキルの対応表



A table mapping IT exam topics to specific skill sets. It includes exam topics and the skills needed for each.

タスク×スキル対応表

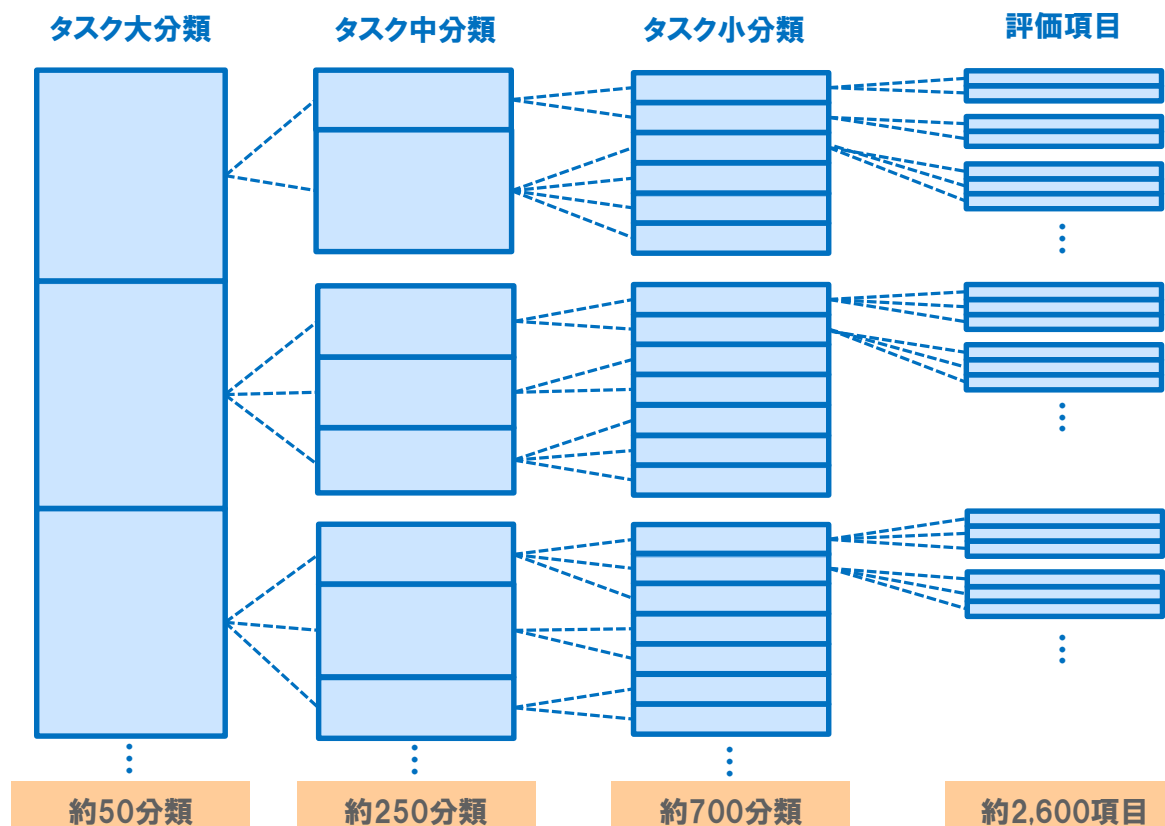
タスクとスキルの対応表



A large table mapping tasks to specific skill sets. It has multiple columns for different tasks and rows for the corresponding skill sets.

定義

「課される“仕事”」: 組織、個人に求められる機能や役割。4階層のモデルで整理、体系化したもの。



特色

- 1) ITビジネスにかかわる主要プロセス体系(右欄:参照元)との参照性を高め、MECEに整理
- 2) ビジネスモデル、業態、開発手法等の観点で、必要なタスクセットをモデル化(タスクプロフィール)
- 3) 個人がタスク遂行実績を評価する項目(評価項目:約2,600項目)を付加
- 4) 企業単位での利便性を考慮し、「営業業務」「総務・経理・人事」などの業務タスクを追加(協力:CSAJ、FISA)

参照元

- ・CCSF(第一版・追補版)
- ・SLCP-JCF 2013
- ・ESPR Ver.2.0
- ・ITIL® 2011 Edition ほか

		計画・実行		管理・統制									推進・支援							その他業務		
ライフサイクル	戦略	ST01	事業戦略策定	プロジェクトマネジメント	MC01	MC02	MC03	MC04	MC05	MC06	MC07	MC08	MC09	CM01	CM02	CM03	CM04	CM05	CM06	CM07	SP01	SP02
		ST02	事業戦略把握・策定支援																			
		ST03	IT製品・サービス戦略策定																			
	企画	PL01	IT戦略策定・実行推進		PL02	システム企画立案																
	開発	DV01	システム要件定義・方式設計		DV14 プロジェクトマネジメント	ラインマネジメント	事業継続マネジメント	情報セキュリティマネジメント	品質マネジメント	契約管理	コンプライアンス	人的資源管理	内部統制状況のモニタリング	システム監査	マーケティング・セールス	再利用	調達・委託	標準の策定・維持・管理	新ビジネス・新技術の調査・分析と技術支援	データサイエンス	新たな価値創造による新規製品・サービス開発 ※	
		DV02	運用設計																			
		DV03	移行設計																			
		DV04	基盤システム構築																			
		DV05	アプリケーションシステム開発																			
		DV06	ソフトウェア製品開発																			
		DV07	組込みソフトウェア開発																			
		DV08	Webサイト開発																			
		DV09	システムテスト																			
		DV10	移行・導入																			
		DV11	ソフトウェア保守																			
		DV12	ハードウェア・ソフトウェア製品導入																			
		DV13	ファシリティ設計・構築																			
	利活用	US01	サービスデスク		US06 サービスマネジメント																	
		US02	IT運用コントロール																			
		US03	システム運用管理																			
		US04	Webサイト運用管理																			
		US05	ファシリティ運用管理																			
	評価・改善	EV01	システム評価・改善																			
		EV02	IT戦略評価・改善																			
		EV03	IT製品・サービス戦略評価・改善																			
		EV04	事業戦略評価支援・改善支援																			
EV05		事業戦略評価・改善																				
EV06		資産管理・評価																				

※印のタスクには、既存のタスク群では不足するタスクを、階層ごとに追加する形でその差分を掲載しています。
全体を一覧したい場合は、それぞれの別冊をご参照ください。

タスク一覧(抜粋)

タスク大分類	タスク中分類	タスク小分類	評価項目
アプリケーションシステム開発	ソフトウェア要件定義	機能要件と非機能要件の定義	業務の進め方や業務同士の連携等、ビジネスプロセスに関する要件を定める ビジネスプロセス単位の機能要件を定める ビジネスプロセス単位の性能、信頼性、使用性、効率性、保守性、移植性等の非機能要件を定める 検討結果と成果物に基づき、プロセスモデルを作成する
		インタフェース要件の定義	データの受け渡しを行う他の業務および受け渡しを行うデータを抽出する データの受け渡しの方向（入力、出力、入出力）、手段、方法、タイミングを検討する バックアップ、リカバリに関するデータファイル保全方式を検討する サブシステム間や他システムとのインタフェースの要件を定める ユーザビリティを考慮してユーザインタフェースの要件を定める
		概念データモデルの作成	システム化対象範囲のすべてのデータを分析し、管理すべきデータを抽出する ビジネスルールを踏まえて、システム化対象範囲のデータ構造をER図にまとめる データ（エンティティ）とビジネスプロセス（機能）との関連をCRUD図にまとめ、データライフサイクルを検証する
		ソフトウェア要件の評価	システム要件およびシステム方式設計への追跡可能性を評価する システム要件との外部一貫性を評価する ソフトウェア要件の内部一貫性およびテスト可能性を評価する ソフトウェア方式設計の実現可能性を評価する 運用および保守の実現可能性を評価する
		パッケージ利用時のフィット&ギャップ分析	機能要件に対するパッケージ機能の網羅性を検証する 外部インタフェース要件に対するパッケージの外部インタフェースの網羅性を検証する 概念データモデルに対するパッケージデータモデルの適合性を検証する 機能、外部インタフェース、データ構造の適合性と網羅性の検証結果により、パッケージの利用可否を判断する パッケージを利用する場合、カスタマイズやアドオンの範囲および
			成果を評価する ビジネスでの活用の視点から、データサイエンスの活動の課題を次期のプロジェクトにフィードバックする

◆ タスク評価の診断基準例

診断レベル	診断基準
L4	他者を指導できる、またはその経験あり
L3	独力で実施できる、またはその経験あり
L2	サポートがあれば実施できる、またはその経験あり
L1	トレーニングを受けた程度の知識あり
L0	知識、経験無し

◆ タスク別レベル判定の例

個人の評価項目別の自己診断結果

タスク大分類	タスク中分類	タスク小分類	評価項目	診断結果	平均
顧客の事業戦略策定	要求(構想)の確認	...	...	レベル0	0.67
			...	レベル1	
			...	レベル1	
		...	...	レベル3	2.7
			...	レベル3	
			...	レベル2	
IT製品・サービス戦略策定	市場動向の調査・分析・予測	...	...	レベル3	2.3
			...	レベル2	
			...	レベル2	
		...	...	レベル3	3.3
			...	レベル3	
			...	レベル4	
	IT製品・サービス戦略の策定	...	...	レベル4	4.0
			...	レベル4	

タスク別
レベル判定基準

平均0.5以上→レベル1
平均1.5以上→レベル2
平均2.5以上→レベル3
平均3.5以上→レベル4

個人のタスク小分類別のレベル判定結果

タスク大分類	タスク中分類	タスク小分類	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
顧客の事業戦略把握	要求(構想)の確認	...	●			
		...			●	
IT製品・サービス戦略策定	市場動向の調査・分析・予測	...		●		
		...				

組織のタスク小分類別のレベル判定結果

タスク大分類	タスク中分類	タスク小分類	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
顧客の事業戦略把握	要求(構想)の確認	...	3	2	0	1
		...	2	1	4	1
IT製品・サービス戦略策定	市場動向の調査・分析・予測	...	2	1	4	1
		...	2	1	4	1
	IT製品・サービス戦略の策定	...	1	1	2	1
		...	1	1	2	3
		...	2	2	1	2



集計

タスクディクショナリ(7)

タスクプロフィール × タスク 対応表(抜粋)

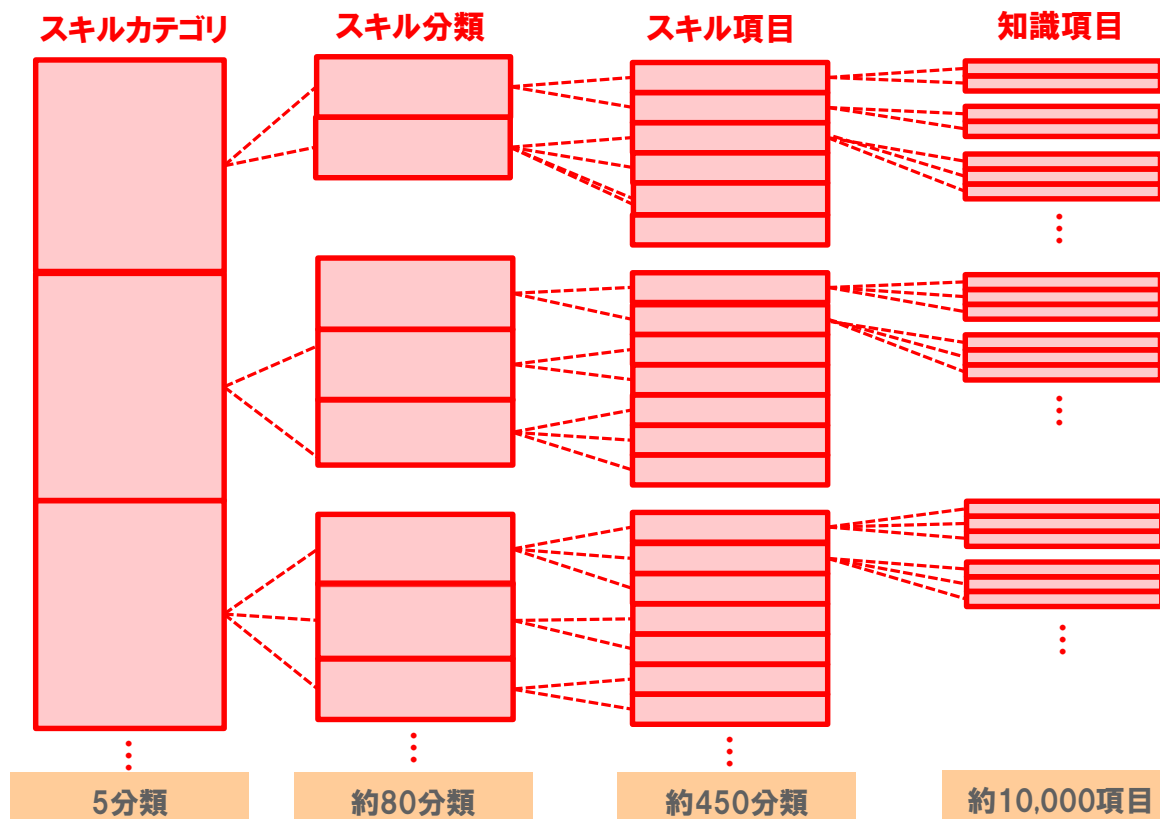
タスク大分類	タスク中分類	タスク小分類	ビジネスタイプ別								開発対象別				開発手法別		
			システム受託開発	ソフトウェア製品開発	組み込みソフトウェア開発	Webサイト構築・運用	システム運用サービス (運用業務委託)	システム運用サービス (データセンタ運営)	ITコンサルティング	アプリケーションシステム	基盤システム	ソフトウェア製品	組み込みソフトウェア	Webサイト	ウォーターフォール	アジャイル	ハイブリッド利用
			A-010-020	A-010-030	A-010-040	A-010-050	A-010-060	A-010-070	A-010-080	甲-010-010	甲-010-020	甲-010-030	甲-010-040	甲-010-050	甲-010-010	甲-010-020	甲-010-030
事業戦略把握・策定支援	要求(構想)の確認	経営要求の確認							◎								
	新ビジネスモデルへの提言	経営環境の調査・分析と課題の抽出							◎								
	事業戦略の実現シナリオへの提言	業界動向の調査・分析							◎								
		ビジネスモデル策定への助言							◎								
IT製品・サービス戦略策定		実現可能性の確認							◎								
		全社戦略の展開における活動・成果指標の設定							◎								
		課題とリスクの洗い出し							◎								
		超概算予算の算出							◎								
IT戦略策定・実行推進	市場動向の調査・分析・予測	市場機会の発見と選択	○	◎	○	○	○	○	○								
	IT製品・サービス戦略の策定	ターゲット市場のビジネスチャンス分析	○	◎	○	○	○	○	○								
		ビジネス機会の分析	○	◎	○	○	○	○	○								
		新規製品・サービスの企画	○	◎	○	○	○	○	○								
システム企画立案	基本方針の策定	既存製品・サービスのロードマップ更新	○	◎	○	○	○	○	○								
	IT化計画の策定	現状分析・環境分析							◎								
		IT基本方針の策定							◎								
		IT中期計画の作成							◎								
	IT戦略実行マネジメント	IT基盤戦略の策定							◎								
		事業部門のIT化計画の作成							◎								
		IT基盤計画の作成							◎								
		全体計画の策定							◎								
システム企画立案	システム化構想の立案	IT戦略の理解とプログラムの定義	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎								
		プログラム戦略マネジメント	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎								
		実行組織の確立	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎								
		モニタリング	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎								
		アセスメントマネジメント	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎								
		プログラムリスクへの対応	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎								
		コミュニティマネジメント	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎								
		システム化構想基本方針の策定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎								
システム企画立案		現行業務・システムの調査分析	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎								
		新業務の全体像把握と評価指標の設定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎								
		投資規模の策定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎								
		システム化構想の成案化	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎								
システム企画立案		システム化構想の支援	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎								
	システム化計画の策定	システム化計画におけるプロジェクト計画の策定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎								

組み合わせにより、目的により近い
タスクセットを探すことが可能に

スキルディクショナリ(1)

定義

「タスク遂行のための素養」:タスクを支える能力(スキルや知識)を体系化したもの。
スキル3階層と知識項目から構成される。



参照元

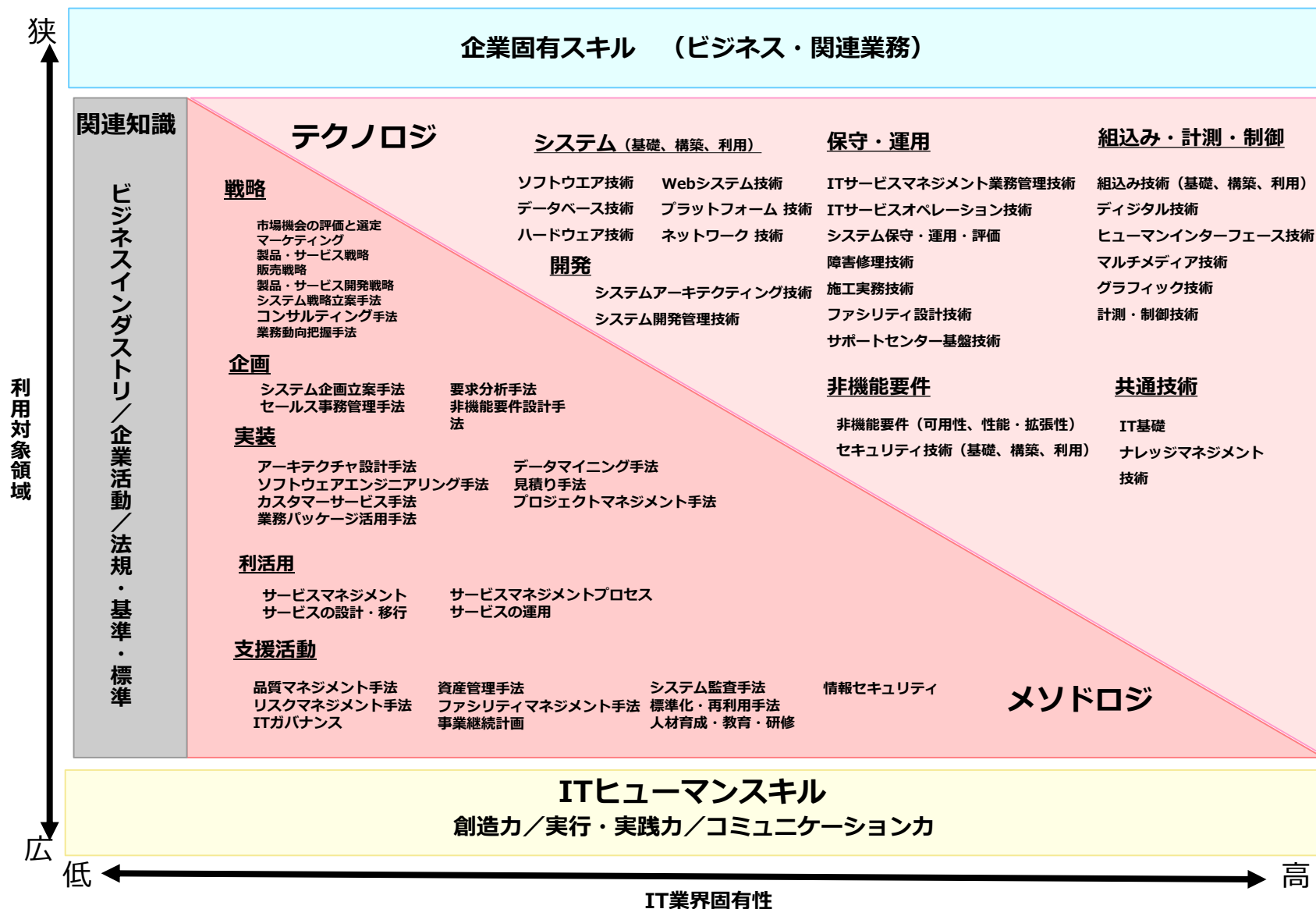
参照元	小分類数	知識項目数
情報処理試験	100	691
ITSS	656	2,822
ITS	78	359
UISS	55	1,302
ETSS	47	273
J07	167	2,844
BABOK®	14	163
CBK	10	51
ITIL®	78	381
PMBOK®	10	47
REBOK®	18	97
SABOK	14	123
SQuBOK®	88	802
SWEBOK	45	301
SSUG	8	37
SecBoK	58	840
CAIS_BOK	8	78
⋮	⋮	⋮
合計	1,589	12,246

特色

- 1) IT業務に必要なスキルと知識を、主要な参照元の知識項目に基づき網羅的に構造化して提示
- 2) スキルカテゴリは、「テクノロジー」「メソドロジー」「関連知識」「ITヒューマンスキル」「企業固有スキル(ユーザ領域)」の5分類から構成
- 3) 情報処理試験「[午前の試験]出題分野」に準じた整理体系

注) 参照元より抽出した小分類、知識項目は各々の重複を整理したため、スキルディクショナリ上の数は減っている

スキルディクショナリ構成図



スキル一覧(抜粋)

スキルカテゴリ	スキル分類	スキル項目	知識項目 コード	知識項目
メソドロジ	(実装) 見積り手法	規模の見積り手法	K001	スケジュール最適化(クリティカルパス、PERT、ガントチャート等)
			K002	パラメトリックモデル法
			K003	ファンクションポイント法(FP試算法、FP概算法、IFPUG法)
			K004	プログラム規模見積り(LOC法)
			K005	ボトムアップ見積り
			K006	規模の見積り(LOC/Function Point/COCOMO等)
			K007	係数見積り(基準値法、COCOMO)
			K008	経験法
			K009	類推見積り(累推法、デルファイ法)
	コストの見積り手法		K001	トップダウンコスト見積の実施
			K002	プロジェクトマネジメント・ソフトウェア
			K003	ベンダ入札の分析
			K004	ボトムアップ見積り
			K005	リスク分析
			K006	機能分析
			K007	係数見積り
			K008	見積ツールの活用と実践
			K009	見積り
			K010	資源単価
			K011	品質コスト
			K012	予備設定分析
			K013	類推見積り
	(支援活動) 品質マネジメント手法	プロダクトのレビュー手法	K001	CBR (Checklist Based Reading)
			K002	PBR (Perspective Based Reading)
			K003	アドホックレビュー
			K004	インスペクション
			K005	ウォークスルー
			K006	チームレビュー
			K007	デザインレビュー(設計審査)
			K008	パスアラウンド
			K009	ピアデスクチェック
			K010	ピアレビュー
			K011	ペアプログラミング
			K012	ラウンドロビンレビュー
			K013	レビューのマネジメント
			K014	レビューの技法
			K015	レビュー計画
			K016	レビュー方法

18種類の
知識体系
を参照し、
MECEに
整理

スキル熟達度判定基準

スキルディクショナリ（ITヒューマンスキルを除く）のスキル熟達度の判定基準の例示。
 レベル1～4までは各スキル項目の熟達度の判断に適するようにカテゴリ別に定められている。
 レベル5以上は、カテゴリによらず共通のレベル定義となっている。

レベル7	業界をリードし市場への影響力があるレベルにある		
レベル6	業界に貢献し認知されるレベルにある		
レベル5	所属団体・組織内で貢献し認知されるレベルにある		
レベル4	非機能要件を考慮して最適化できる、 最適解が出せる／ 定石外しができる／ 高度情報処理試験に合格するレベル	最適な手法を使いこなす／ 最適な手法を選択できる／ 手法を状況に応じて自在に駆使できる	関与する業種・業務の 上級管理者に対しあるべき姿に ついて議論できる
レベル3	機能要件が作成できる／ 自立してある限定条件で仕事ができる	課題に応じて手法の使い分けができる ／ 現場にて手法を活用し結論を 導いた事がある	関与する業種・業務のIT領域の課題点に 対し解決策を提案した事がある
レベル2	指示があると使える、活用できる／ 実装経験がある	当該手法で分析できる／ メソドログを指導下で使える	関与する業種・業務のIT領域の 課題点を知っている
レベル1	技術内容について 講義などを受講し知っている／ 知識がある	手法内容について 講義などを受講し知っている／ どんなものか知っている、言える／ テキストで知っている	関与する業種・業務がどんなものか 知っている、言える／ 有報などの公開情報で知っている
カテゴリ	テクノロジ	メソドログ	関連知識

ITヒューマンスキルの構成： 3つの分類

実行・実践力

効果を上げるために、実行・実践環境
や状況を適切に捉える能力

俯瞰力

深耕力

効果的継続の実行と新しい取り組み
や新領域へ挑戦する能力

革新力

継続力

創造力

状況を認知して問題を発見し、見極め、解決案を策定する
「価値創造プロセス」を着実に遂行する能力

問題発見力

問題分析力

仮説設定力

論理思考力

概念化力

複雑な状況や問題に対して、論理的思考により
概念の形成、判断の構築、命題設定を行う能力

コミュニケーション力

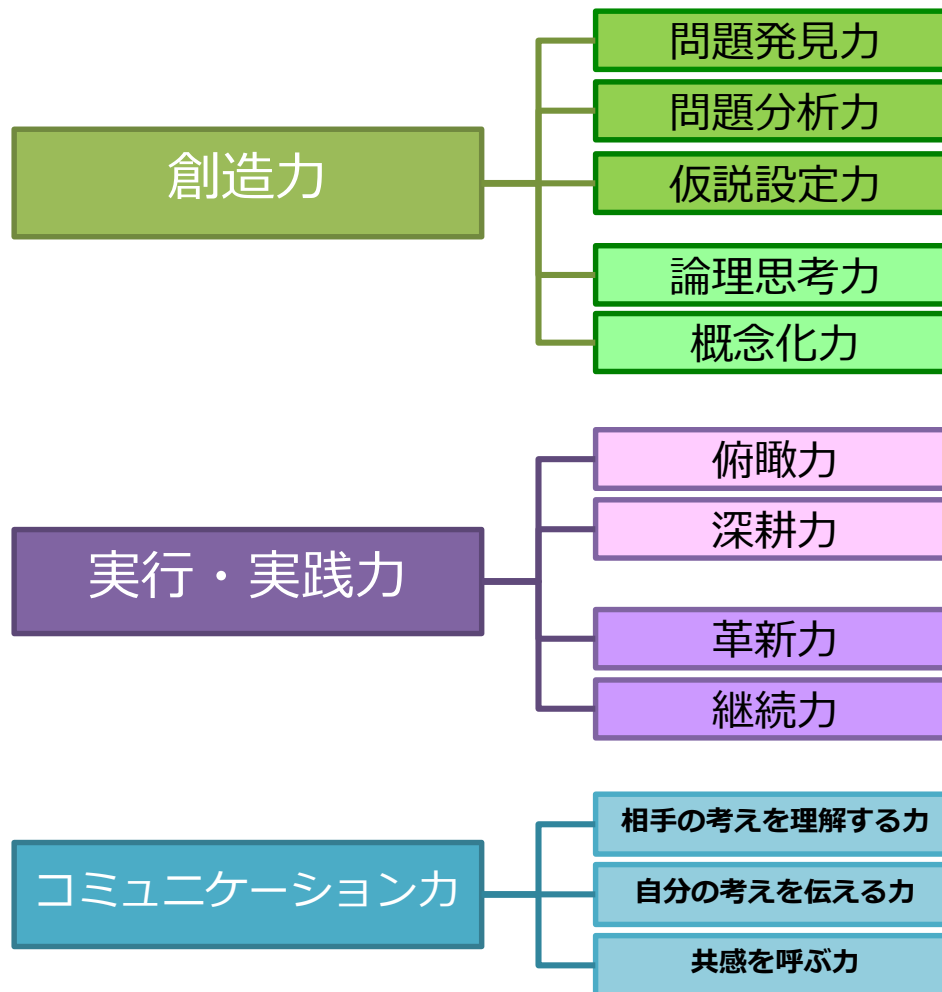
情報の獲得や更なる情報の要求や内容の確認、他者へ情報提供
他者に影響を与えたり協働への引導する能力

相手の考えを理解する力

自分の考えを伝える力

共感を呼ぶ力

ITヒューマンスキル: 3つの分類と、12のスキル項目



職種一覧(抜粋)

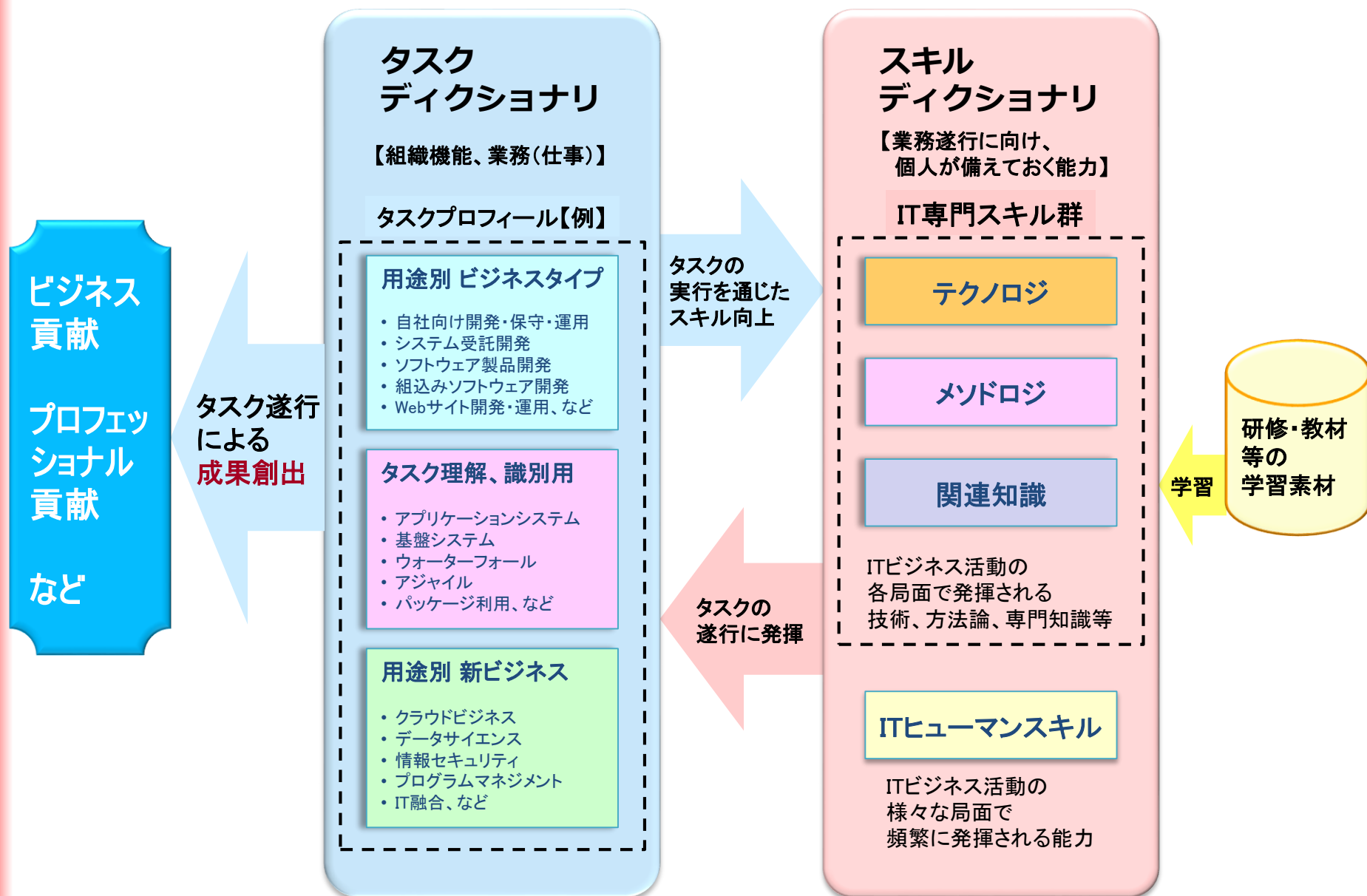
職種コード	人材類型	人材像	出自	職種	専門分野	解説
HI-010-010	基本戦略系	ストラテジスト	ITSS	マーケティング	-	顧客ニーズに対応するために、企業、事業、製品およびサービスの市場の動向を予測かつ分析し、事業戦略、販売戦略、実行計画、資金計画および販売チャネル戦略等ビジネス戦略の企画および立案を実施する。市場分析等を通じて立案したビジネス戦略の投資効果、新規性、顧客満足度に責任を持つ。
HI-020-010	基本戦略系	ストラテジスト	ITSS	セールス	-	顧客における経営方針を確認し、その実現のための課題解決策の提案、ビジネスプロセス改善支援およびソリューション、製品、サービスの提案を実施し成約する。顧客との良好なリレーションを確立し、顧客満足度を高める。 IT投資の局面においては、経営戦略策定（目標とビジョンの策定、ビジネス戦略策定）および戦略的情報化企画（課題整理、ビジネスおよびIT分析）を主な活動領域として以下を実施する。 －経営戦略策定 ・顧客における目標とビジョンの確認 ・顧客におけるビジネス戦略の確認 －戦略的情報化企画 ・顧客におけるビジネス課題の整理およびソリューションの提案
HI-030-010	基本戦略系	ストラテジスト	ITSS	コンサルタント	-	知的資産、コンサルティングメソドロジーを活用し、顧客の経営戦略やビジネス戦略およびIT戦略策定へのコンサルティング、提言、助言の実施を通じて、顧客のビジネス戦略やビジョンの実現、課題解決に貢献し、IT投資の経営判断を支援する。提言がもたらす価値や効果、顧客満足度、実現可能性等に責任を持つ。 IT投資の局面においては、経営戦略策定（目標およびビジョンの策定、ビジネス戦略策定）および戦略的情報化企画（課題整理および分析（ビジネスおよびIT））を主な活動領域として以下を実施する。 －経営戦略策定 ・目標およびビジョンの提言 ・ビジネス戦略策定への助言 －戦略的情報化企画 ・ソリューション策定のための助言
HI-040-010	ソリューション系	システムアーキテクト	ITSS	ITアーキテクト	-	ビジネスおよびIT上の課題を分析し、ソリューションを構成する情報システム化要件として再構成する。ハードウェア、ソフトウェア関連技術（アプリケーション関連技術、メソドロジー）を活用し、顧客のビジネス戦略を実現するために情報システム全体の品質（整合性、一貫性等）を保ったITアーキテクチャを設計する。設計したアーキテクチャが課題に対するソリューションを構成することを確認するとともに、後続の開発、導入が可能であることを確認する。また、ソリューションを構成するために情報システムが満たすべき基準を明らかにする。さらに実現性に対する技術リスクについて事前に影響を評価する。 IT投資の局面においては、戦略的情報化企画（課題整理と分析（ビジネスおよびIT）、ソリューション設計（構造とパターン））を主な活動領域として以下を実施する。 －戦略的情報化企画 ・ソリューションの枠組み策定 ・ソリューションアーキテクチャの設計
HI-050-010	ソリューション系	プロジェクトマネージャ	ITSS	プロジェクトマネジメント	-	プロジェクトマネジメント関連技術、ビジネスマネジメント技術を活用し、プロジェクトの提案、立上げ、計画、実行、監視コントロール、終結を実施し、計画された納入物、サービスとその要求品質、コスト、納期に責任を持つ。 IT投資の局面においては、戦略的情報化企画（課題整理、分析（ビジネス、IT）、ソリューション設計（構造、パターン））、開発（コンポーネント設計（システム、業務）、ソリューション構築（開発、実装））および運用、保守（ソリューション運用（システム、業務）、ソリューション保守（システム、業務））を主な活動領域として以下を実施する。 －戦略的情報化企画 ・情報化企画（ITアウトソーシング、ソフトウェア製品開発専門分野） ・プロジェクト計画の策定 －開発 ・プロジェクトの管理、統制 －運用、保守 ・プロジェクトの管理、統制

3つのスキル標準の職種を主として構成

職種 × スキル 対応表 (抜粋)

スキルカテゴリ	スキル分類	スキル項目	ITSS										
			マーケティング	セールス	コンサルタント	ITアーキテクト	プロジェクトマネジメント	ITスペシャリスト	ITスペシャリスト	ITスペシャリスト	ITスペシャリスト	ITスペシャリスト	
			プラットフォーム	ネットワーク	データベース	アプリケーション共通基盤	システム管理	セキュリティ					
			HI001	HI002	HI003	HI004	HI005	HI006	HI007	HI008	HI009	HI010	HI011
メソドロジー	(戦略) 市場機会の評価と選定	ビジネス環境分析手法	◎	◎	◎								
		ビジネス戦略と目標・評価	◎	◎	◎								
		業界動向把握の手法		◎	◎								
		経営管理システム	◎	◎	◎								
		経営戦略手法	◎	◎	◎								
		最新技術動向把握の手法	◎		◎								
		市場調査手法											
	(戦略) マーケティング	ブランド・製品戦略手法	◎										
		マーケットコミュニケーション戦略手法	◎										
		マーケティングマネジメント手法	◎										
		マーケティング分析手法	◎										
	(戦略) 製品・サービス戦略	製品戦略手法	◎		◎								
		サービス戦略手法	◎		◎								
		ITSM戦略手法	◎		◎								
		データセンタ戦略手法	◎		◎								
	(戦略) 販売戦略	B2Bマーケティング戦略手法	◎		◎								
		販売実行戦略手法		◎									
		販売チャネル戦略手法	◎										
	(戦略) 製品・サービス開発戦略	顧客環境分析手法	◎	◎	◎								
		製品開発戦略手法	◎		◎								
		技術開発計画	◎		◎								
		技術開発戦略の立案	◎		◎								
	(戦略) システム戦略立案手法	システム化戦略手法		◎	◎	◎							
		システム活用促進・評価		◎	◎	◎							
		ソリューションビジネス		◎	◎	◎							
		業務プロセス		◎	◎	◎							
		現行システムの調査・分析手法		◎	◎	◎							
		事業戦略の把握・分析の手法		◎	◎	◎							

タスクとスキルの関係(1)



タスクとスキルの関係(2)

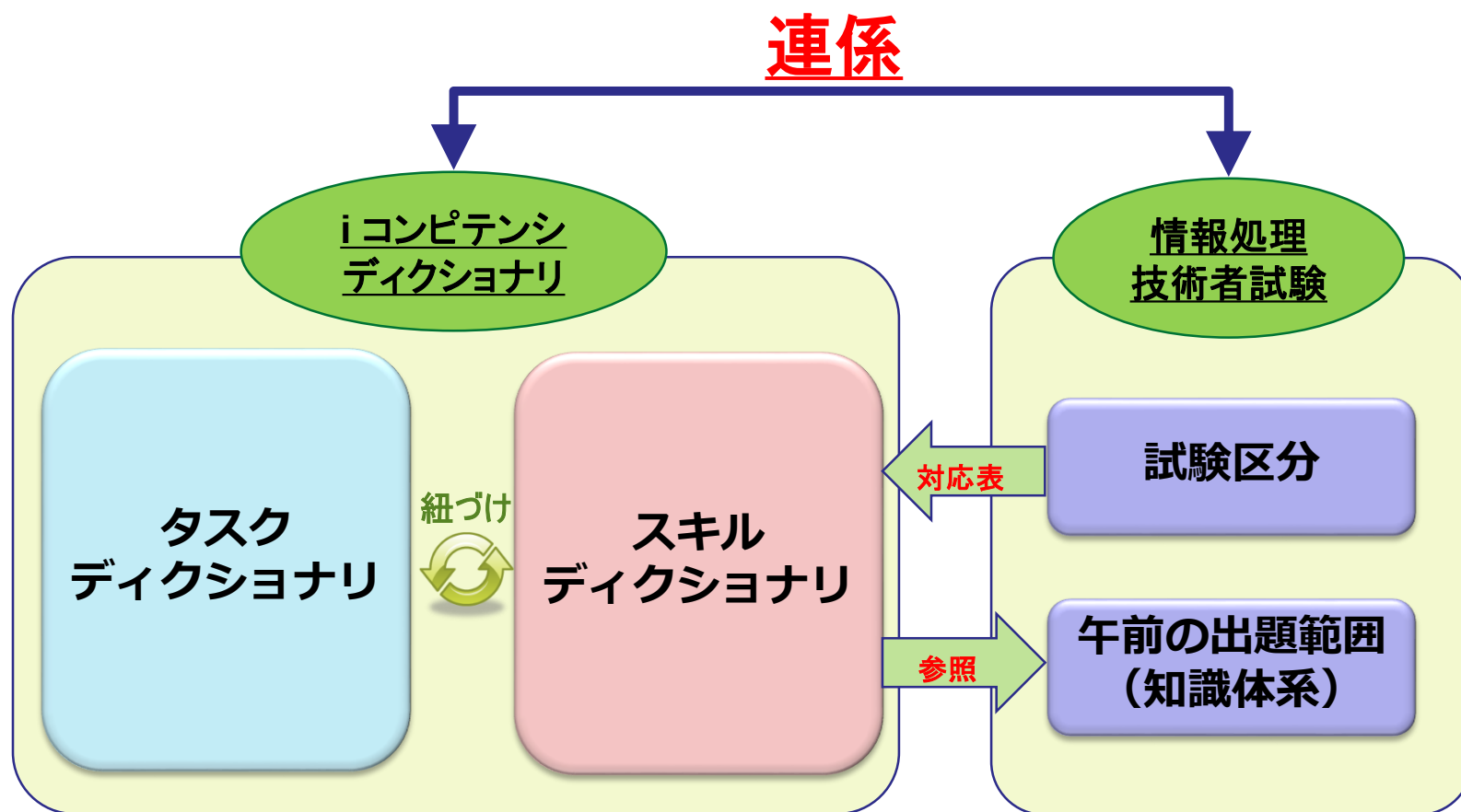
タスク × スキル 対応表 (抜粋)

- タスク＝目標、ゴール達成にむけて、個人が準備すべきこと(スキル)が一目で分かる
- ※ 基礎となる紐付けのみを示している参照情報のため、必要に応じて確認する

			スキル項目コード	S110010 010	S110010 020	S110010 030	S110010 040	S110010 050	S110010 060	S110010 070	S110020 010	S110020 020	S110020 030	S110020 040	S110030 010	S110030 020	S110030 030	S110030 040	
			スキルカテゴリ	メソッド ロジ	メソッド ロジ	メソッド ロジ	メソッド ロジ	メソッド ロジ	メソッド ロジ	メソッド ロジ	メソッド ロジ	メソッド ロジ	メソッド ロジ	メソッド ロジ	メソッド ロジ	メソッド ロジ	メソッド ロジ	メソッド ロジ	メソッド ロジ
			スキル分類	(戦略) 市場機会 の評価と 選定	(戦略) 市場機会 の評価と 選定	(戦略) 市場機会 の評価と 選定	(戦略) 市場機会 の評価と 選定	(戦略) 市場機会 の評価と 選定	(戦略) 市場機会 の評価と 選定	(戦略) 市場機会 の評価と 選定	(戦略) 市場機会 の評価と 選定	(戦略) マーケ ティング	(戦略) マーケ ティング	(戦略) マーケ ティング	(戦略) マーケ ティング	(戦略) 製品・ サービス 戦略	(戦略) 製品・ サービス 戦略	(戦略) 製品・ サービス 戦略	(戦略) 製品・ サービス 戦略
タスク小分類コード	タスク大分類	タスク中分類	スキル項目	ビジネス 環境分析 手法	ビジネス 戦略と目 標・評価	業界動向 把握の手 法	経営管理 システム	経営戦略 手法	最新技術 動向把握 の手法	市場調査 手法	ブランド・ 製品戦略 手法	マーケッ トコミュニ ケーション 戦略手 法	マーケ ティング マネジメ ント手法	マーケ ティング 分析手法	製品戦略 手法	サービス 戦略手法	ITSM戦 略手法	データセ ンタ戦略 手法	
			タスク小分類																
ST-010-010-010	事業戦略把握・策定支援	要求(構想)の確認	経営要求の確認		◎			◎											
ST-010-010-020			経営環境の調査・分析と課題の抽出	◎	◎	◎	◎	◎											
ST-010-020-010		新ビジネスモデルへの提言	業界動向の調査・分析	◎	◎	◎	◎	◎	◎										
ST-010-020-020			ビジネスモデル策定への助言	◎	◎		◎	◎	◎										
ST-010-030-010		事業戦略の実現シナリオへの提言	実現可能性の確認		◎		◎		◎										
ST-010-030-020			全社戦略の展開における活動・成果指標の設定		◎			◎											
ST-010-030-030			課題とリスクの洗い出し		◎	◎	◎												
ST-010-030-040			超概算予算の算出		◎														
ST-020-010-010	IT製品・サービス戦略策定	市場動向の調査・分析・予測	市場機会の発見と選択												◎	◎	◎	◎	
ST-020-010-020			ターゲット市場のビジネスチャンス分析													◎	◎	◎	◎
ST-020-020-010		IT製品・サービス戦略の策定	ビジネス機会の分析													◎	◎	◎	◎
ST-020-020-020			新規製品・サービスの企画													◎	◎	◎	◎
ST-020-020-030			既存製品・サービスのロードマップ更新													◎	◎	◎	◎
PL-010-010-010	IT戦略策定・実行推進	基本方針の策定	現状分析・環境分析																
PL-010-010-020			IT基本方針の策定																

情報処理技術者試験

- 情報処理技術者試験 試験区分とスキルディクショナリの対応表
- 情報処理技術者試験 午前の出題範囲(知識体系)をスキルディクショナリにて参照



情報処理技術者試験との関係(2)

情報処理技術者試験 × スキル 対応表 (抜粋)

スキル分類 コード	スキルカテゴリ	スキル分類	試験区分 〔午前の試験〕 出題分野（中分類）	ITパスポート試験	情報セキュリティマネジメント試験	基本情報技術者試験	応用情報技術者試験	高度試験									
								午前Ⅰ（共通知識）	午前Ⅱ（専門知識）								
									ITストラテジスト試験	システムアーキテクト試験	プロジェクトマネージャ試験	ネットワークスペシャリスト試験	データベーススペシャリスト試験	エンベデッドシステムスペシャリスト試験	情報セキュリティスペシャリスト試験	ITサービスマネージャ試験	システム監査技術者試験
S110010	メソドログ	（戦略） 市場機会の評価と選定	経営戦略マネジメント	1		2	3	3	4								3
S110020		（戦略） マーケティング	経営戦略マネジメント	1		2	3	3	4								3
S110030		（戦略） 製品・サービス戦略	サービスマネジメント	1	2	2	3	3			3				3	4	3
			経営戦略マネジメント	1		2	3	3	4								3
S110040		（戦略） 販売戦略															
S110050		（戦略） 製品・サービス開発戦略	技術戦略マネジメント	1		2	3	3	3								
S110060		（戦略） システム戦略立案手法	システム戦略	1	2	2	3	3	4	3							
S110070		（戦略） コンサルティング手法	企業活動	1	2	2	3	3	4								3
S110080		（戦略） 業務動向把握手法	システム監査	1	2	2	3	3	3						3	3	4
			システム企画	1	2	2	3	3	4	4	3						
			ビジネスインダストリ	1		2	3	3	4								
S120010	企画	（企画） システム企画立案手法	システム企画	1	2	2	3	3	4	4	3						
S120020		（企画） セールス事務管理手法															
S120030		（企画） 要求分析手法	システム企画	1	2	2	3	3	4	4	3						
S120040		（企画） 非機能要件設計手法	システム開発技術	1	2	2	3	3	4	4	3	3	3	4	3		3
S130010	（実装） アーキテクチャ設計手法		システム企画	1	2	2	3	3	4	4	3						
			システム構成要素	1	2	2	3	3	3		3	3	3		3		
			システム開発技術	1		2	3	3	4	3	3	3	4	3		3	
			システム戦略	1	2	2	3	3	4	3							
S130020	（実装） ソフトウェアエンジニアリング手法	システム開発技術	1		2	3	3	4	3	4	3	3	4	3		3	
ソフトウェア開発管理技術		1		2	3	3	3	3	3	3	3	3	3				
S130050	（実装） カスタマーサービス手法	システム開発技術	1		2	3	3	3	4	3	3	3	3	4	3		3
S130060	（実装） 業務パッケージ活用手法	システム企画	1	2	2	3	3	4	4	3							
S130080	（実装） データマイニング手法	ビジネスインダストリ	1		2	3	3	4									
		基礎理論	1		2	3	3										
S130090	（実装） 見積り手法	データベース	1	2	2	3	3		3			4			3	3	3
S130090	（実装） プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメント	1	2	2	3	3				4					4	
S130100	（実装） プロジェクトマネジメント手法	プロジェクトマネジメント	1	2	2	3	3				4					4	
S140010	（利活用） サービスマネジメント	サービスマネジメント	1	2	2	3	3				3				3	4	3
S140020	（利活用） サービスの設計・移行	サービスマネジメント	1	2	2	3	3				3				3	4	3
S140030	（利活用） サービスマネジメントプロセス	サービスマネジメント	1	2	2	3	3				3				3	4	3
S140040	（利活用） サービスの運用	サービスマネジメント	1	2	2	3	3				3				3	4	3
S150010	（支援活動） 品質マネジメント手法	システム開発技術	1		2	3	3	3	4	3	3	3	4	3			3
		プロジェクトマネジメント	1	2	2	3	3			4						4	
		企業活動	1	2	2	3	3	3	4								3

i コンピテンシ ディクショナリの活用方法

産

企業・組織での利活用
(ITベンダー、ユーザ企業)



学校等教育機関での 個人での利活用
(IT技術者、学生)

学

i コンピテンシ ディクショナリ

タスクディクショナリ

タスク大分類	タスク中分類	タスク小分類
顧客の事業戦略把握	要求(構想)の確認	...
IT製品・サービス戦略策定	市場動向の調査・分析・予測	...
	IT製品・サービス戦略の策定	...

企業・組織の
経営計画、事業計画

タスク大分類	タスク中分類	タスク小分類
顧客の事業戦略把握	要求(構想)の確認	...
IT製品・サービス戦略策定	市場動向の調査・分析・予測	...
	IT製品・サービス戦略の策定	...

計画の
具体化

企業・組織の
タスク一覧

タスク大分類	タスク中分類	タスク小分類
顧客の事業戦略把握	要求(構想)の確認	...
IT製品・サービス戦略策定	市場動向の調査・分析・予測	...
	IT製品・サービス戦略の策定	...

業務の
見える化

- ・業務の共通理解
- ・自身の仕事の立ち位置の把握
- ・強み弱みの見える化
- ...

スキルディクショナリ

スキル分類	スキル項目	知識項目
(システム)ソフトウェアの基礎技術	ソフトウェア構築の基礎知識	...
	ソフトウェア設計の基礎知識	...
	プログラミング	...
(システム)ソフトウェアの構築技術	システム開発の概念と方法論	...
	システム開発のアプローチ	...

対応
付け

対応
付け

学校・研修事業者
教育プログラム

スキル分類	スキル項目	知識項目
(システム)ソフトウェアの基礎技術	ソフトウェア構築の基礎知識	...
	ソフトウェア設計の基礎知識	...
	プログラミング	...
(システム)ソフトウェアの構築技術	システム開発の概念と方法論	...
	システム開発のアプローチ	...

IT資格・試験

スキル分類	スキル項目	知識項目
(システム)ソフトウェアの基礎技術	ソフトウェア構築の基礎知識	...
	ソフトウェア設計の基礎知識	...
	プログラミング	...
(システム)ソフトウェアの構築技術	システム開発の概念と方法論	...
	システム開発のアプローチ	...

IT技術者のスキル一覧

スキル分類	スキル項目	知識項目
(システム)ソフトウェアの基礎技術	ソフトウェア構築の基礎知識	...
	ソフトウェア設計の基礎知識	...
	プログラミング	...
(システム)ソフトウェアの構築技術	システム開発の概念と方法論	...
	システム開発のアプローチ	...

スキルの
見える化

- ・保有スキルの状況把握
- ・目指す職種とのスキル比較
- ・スキルアップの目標設定
- ...

- iCDの企業・組織での利用

- 自組織の業務実行能力の見える化を行い、強み・弱みを知る
 - 経営の改革に利用
 - 業務改善に利用
 - 人材育成や採用、業務委託に利用
 - 個人の成長、モチベーション向上に利用、などなど
- お客様へ提供できる業務を示す
 - お客様の業務範囲が見える化し、どの業務を提供できるかを示す
- 共通言語としての利用
 - 共通の業務名称、業務のやり方での合意形成など

- iCDの個人での利用

- 個人の経験やスキルが見える化し、成長の材料とする

i コンピテンシ ディクショナリ

iCD iCompetency Dictionary

経営戦略の達成とイノベーションを創出する組織の構築

経営

人的リソースの把握と有効活用

顧客・他社との合意形成

経営戦略の反映

人事評価への反映



iCD活用による効果

要求の確認と目標設定

業務を通して成長

独自のキャリアパス設計

ミッションの具体化

業務対応力強化

メンバーの育成

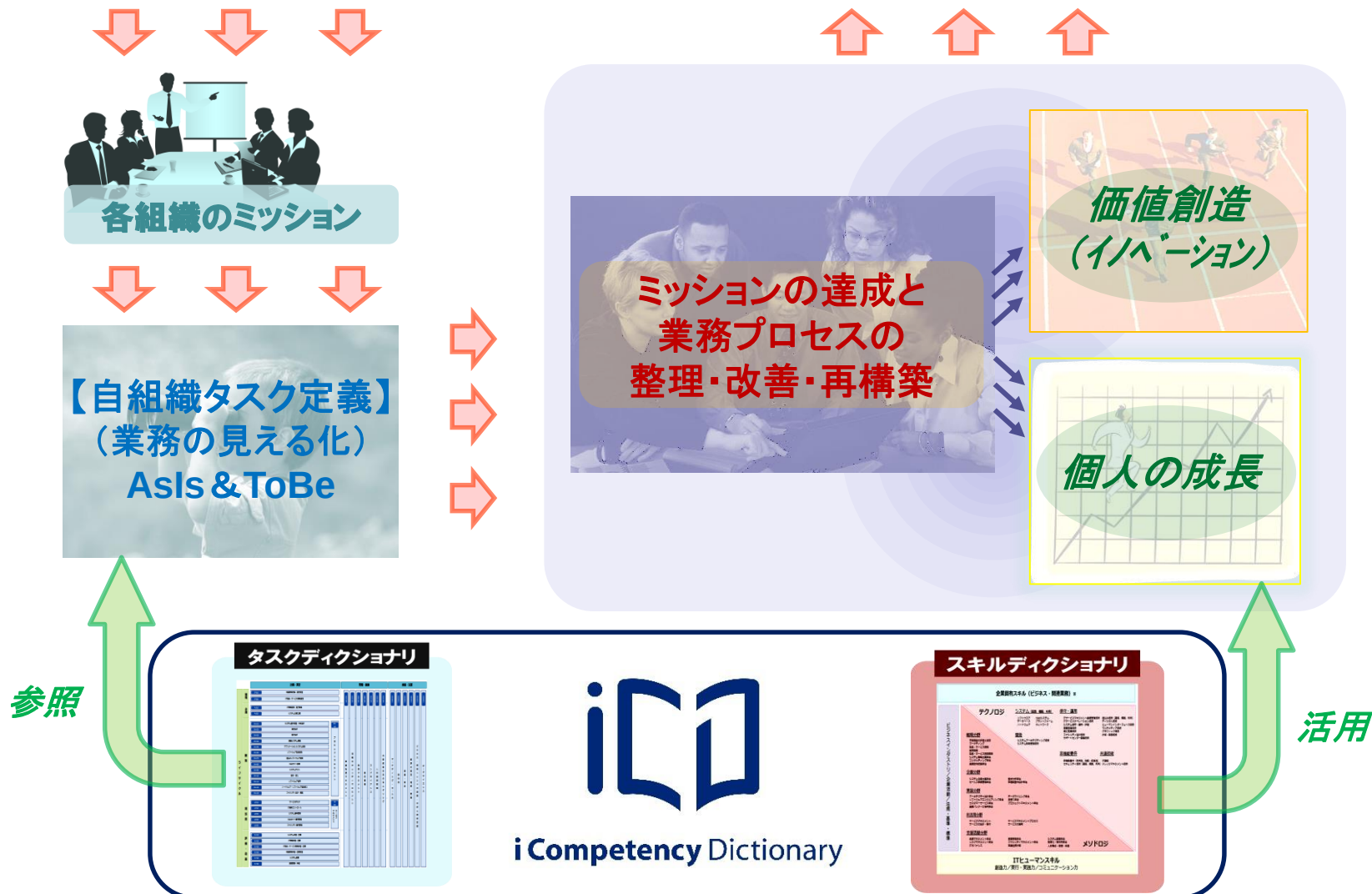
マネージャ

強いチーム作りと組織ミッションの達成

組織
メンバー

自己実現と組織貢献による満足度向上

自組織ビジネス目標（経営戦略）



Step1：導入の成果

タスクディクショナリを活用した業務整理を行えたことにより、
ビジネス目標や経営戦略が単なるスローガンとしてではなく、
確実な実行手段として現場に浸透した

個人別、組織別などで業務遂行能力の状況が明らかとなり、
適切な人員配置や計画的なローテーションなど、
人的リソースの有効活用とレベルアップが可能となった

タスクを通して個人の成長目標やキャリアパス設計がやりやすくなり、
成長実感もあることから、
個人のモチベーションアップに大きく貢献しつつある

Step2：継続の成果

タスクベースで一覧化できたことで、
ITにかかる投資や戦略について、経営としてコミットメントが容易になった

タスクベースで個人の成長目標を立てたことで、
その目標の達成がすなわち即業務の質向上につながっており、
人材育成を人事評価に反映させられるようになった

中途採用に際し、あらかじめほしい人材の役割や業務内容を
タスクで示すことができるようになり、
採用のミスマッチが起こりにくくなった

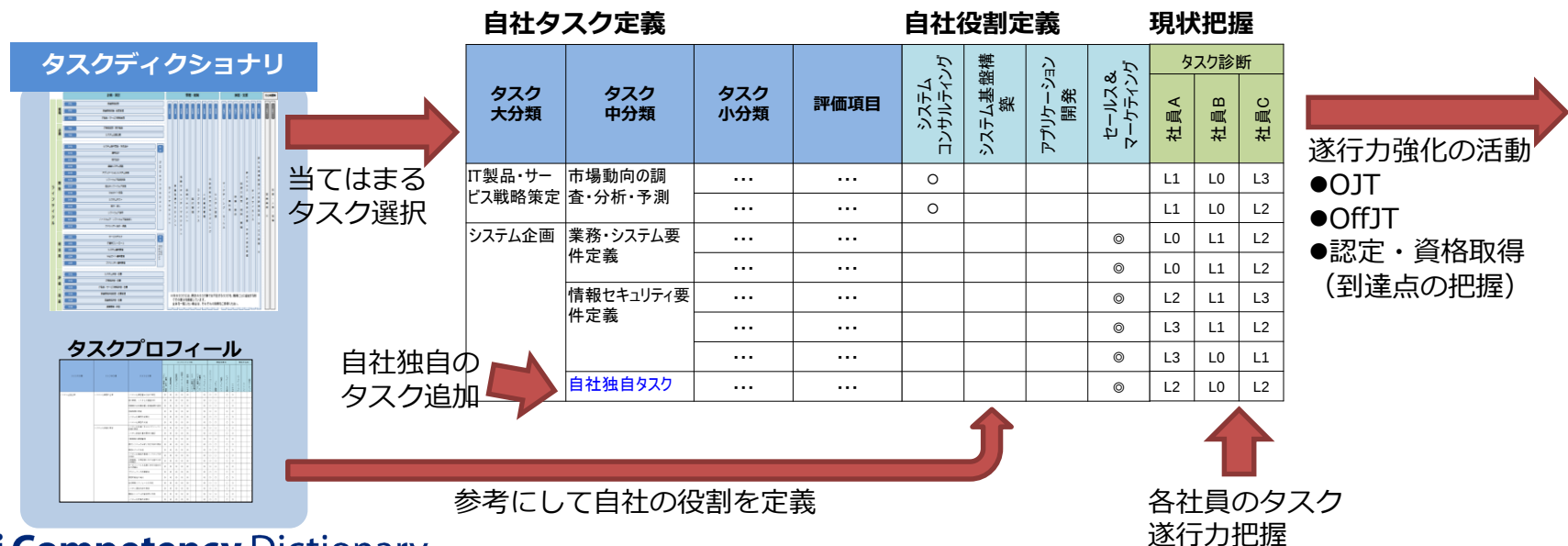
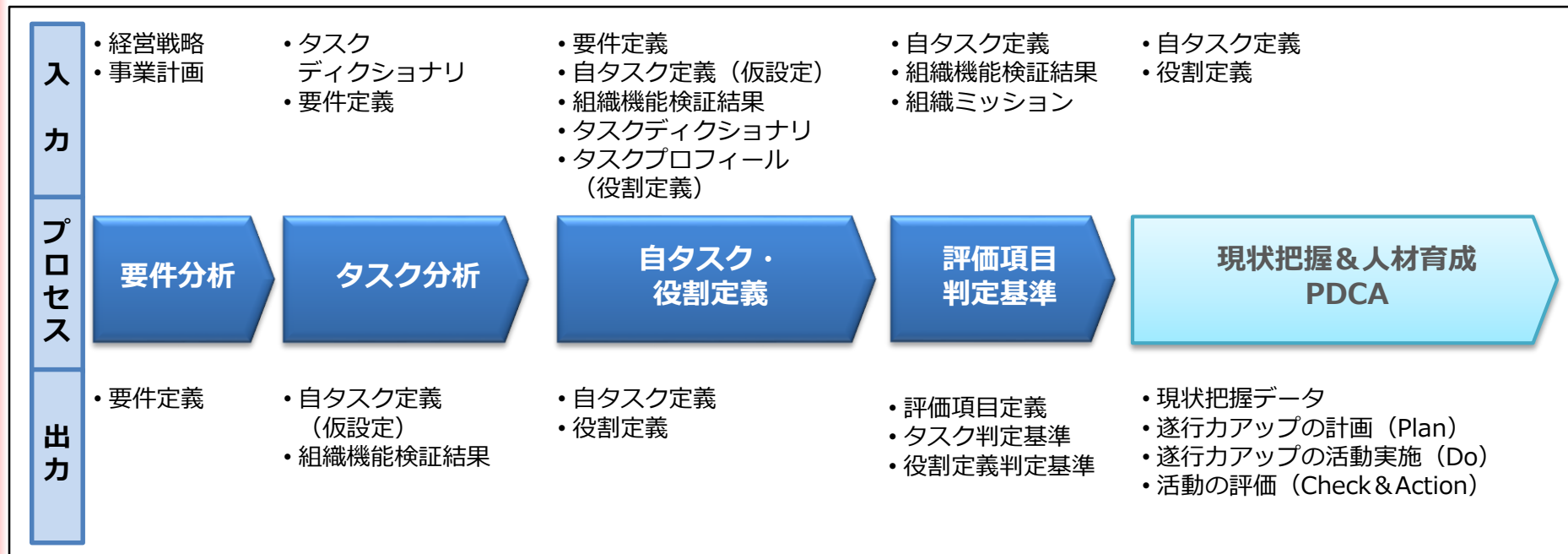
Step3：未来への成果

新たに人材を採用する際、
タスクによる育成施策があることで、採用候補者の印象が良くなり、
魅力的な人材が入社してくれるようになった

創業者からの代替わりの時期に差し掛かっているが、
タスクモデルを参照して自社の役割や業務をしっかりと定義できたことにより、
後継者への移行がスムーズに行える

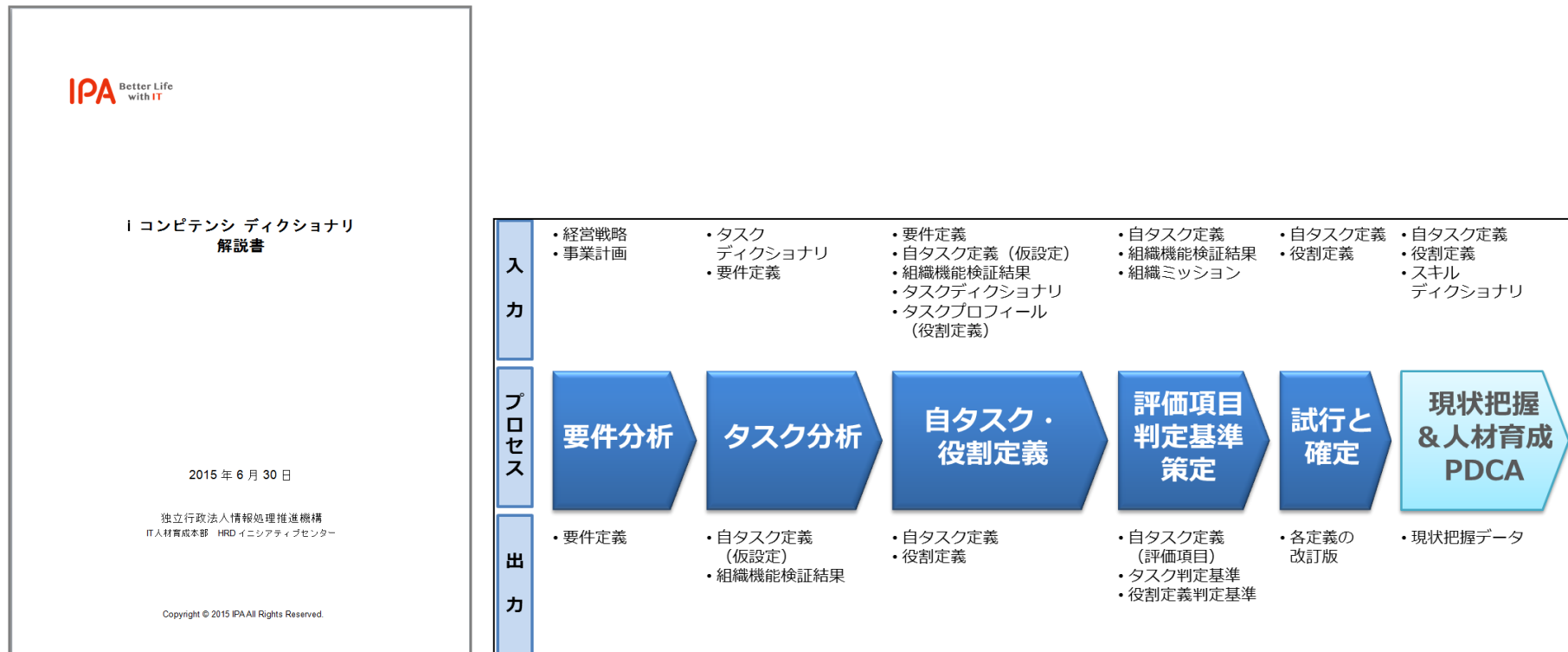
iCDを採用している企業間において、
双方が人材育成を重視していることがきっかけとなり、
これまで両者間では付き合いがなかったのが、新たな取引につながった

企業・組織での利用：企業でのiCDの活用方法



企業・組織での利用:i コンピテンシ ディクショナリ解説書IPA

- 2つのディクショナリとともに、「i コンピテンシ ディクショナリ解説書」を提供
- iCDの利用方法を掲載し、活用をサポート



i コンピテンシ ディクショナリ解説書

iCD利活用プロセス

★i コンピテンシ ディクショナリ解説書のダウンロード★

<http://www.ipa.go.jp/files/000040676.pdf>

「タスク一覧」タスク中分類(2階層目)でレベル診断

◆ 以下の診断基準を使って、レベル0～レベル4の5段階をタスクごとに付ける

診断レベル	診断基準
L4	他者を指導できる、またはその経験あり
L3	独力で実施できる、またはその経験あり
L2	サポートがあれば実施できる、またはその経験あり
L1	トレーニングを受けた程度の知識あり
L0	知識、経験無し

※
これまでの業務経験の
見える化をするため、
基本はすべてのタスク中分類に対し診断する。
(約250項目)

タスク大分類	タスク中分類	診断レベル
アプリケーションシステム開発	ソフトウェア要件定義	L2
	ソフトウェア方式設計	L2
	開発環境構築	L3
	アプリケーション共通基盤設計・構築	L1
	業務プロセス設計	L3
	ソフトウェア詳細設計	L3
	ソフトウェアコード作成・単体テスト	L3
	ソフトウェア結合テスト	L3
システムテスト	システムテスト計画策定	L2
	システムテスト実施	L3
移行・導入	移行	L1
	受入れテスト	L3
	運用テスト	L3
	導入	L3
ソフトウェア保守	保守の方針と計画の策定	L0
	問題の調査と分析	L0
プロジェクトマネジメント	プロジェクト立ち上げ	L0
	プロジェクト計画策定	L2
	プロジェクト追跡と実行管理	L2
	プロジェクト終結	L1
	プロジェクト個別の品質マネジメント	L1
情報セキュリティマネジメント	情報セキュリティ戦略と方針の策定	L1
	情報セキュリティの運用	L1
	情報セキュリティの見直し	L1
品質マネジメント	品質管理のコントロール	L2
	組織全体の品質マネジメント	L2
契約管理	契約締結管理	L0
	契約変更管理	L0

「スキル一覧」スキル項目(3階層目)でレベル診断

◆ 前ページ「スキル熟達度判定基準を使って、レベル0～レベル7をスキルごとにつける

※

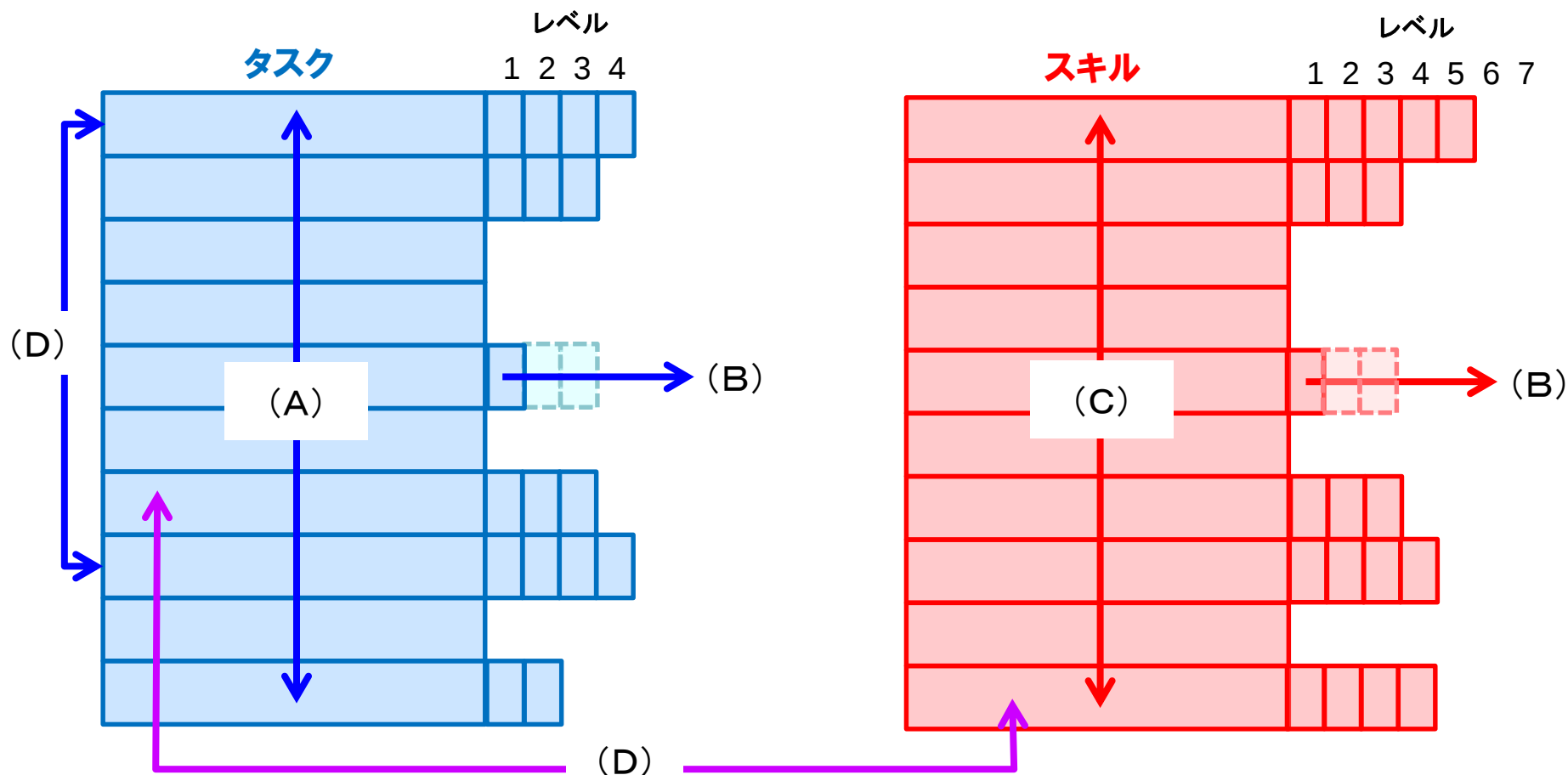
スキル項目で診断すると項目数が多いので時間がかかる。
(約450項目)



まずは自分の経験業務に関連しそうなスキル分類(2階層目)から始めてもよい。
強みを把握するためには、網羅的に診断することが必要。

スキルカテゴリ	スキル分類	スキル項目	診断レベル
メソドロジー	(戦略) 市場機会の評価と選定	ビジネス環境分析手法	L2
		ビジネス戦略と目標・評価	L2
		業界動向把握の手法	L0
		経営管理システム	L0
		経営戦略手法	L0
		最新技術動向把握の手法	L0
		市場調査手法	L0
	(戦略) マーケティング	ブランド・製品戦略手法	L0
		マーケットコミュニケーション戦略手法	L0
		マーケティングマネジメント手法	L0
		マーケティング分析手法	L0
	(戦略) 製品・サービス戦略	製品戦略手法	L2
		サービス戦略手法	L2
		ITSM戦略手法	L0
	(戦略) 販売戦略	データセンタ戦略手法	L0
		B2Bマーケティング戦略手法	L0
		販売実行戦略手法	L0
	(戦略) 製品・サービス開発戦略	販売チャネル戦略手法	L0
		顧客環境分析手法	L0
		製品開発戦略手法	L2
		技術開発計画	L2
	(戦略) システム戦略立案手法	技術開発戦略の立案	L2
		システム化戦略手法	L2
		システム活用促進・評価	L2
		ソリューションビジネス	L1
		業務プロセス	L2
		現行システムの調査・分析手法	L2
		事業戦略の把握・分析の手法	L0
		情報システム戦略	L2
	(戦略) コンサルティング手法	コンサルティング手法	L3
	(戦略) 業務動向把握手法	業務動向の把握手法	L0
	(企画) システム企画立案手法	業務動向の把握手法	L0
		システム化計画	L2
		システム企画立案手法	L2
		ソリューション提案手法	L1
		技術問題解決手法	L1
		調達計画・実施	L0
	(企画) セールス事務管理手法	セールス交渉手法	L0
		契約事務手法	L0
		経理事務手法	L0
		経理事務手法	L0
	(企画) 要求分析手法	要求の抽出手法	L2
		要求の整理手法	L2
		要求の仕様化手法	L2
		要求の評価手法	L2
		要件定義	L2
	(企画) 非機能要件設計手法	プラットフォーム要件定義手法	L2
		システム基盤の非機能要件設計	L1

個人での利用：ふたつのディクショナリで見る成長イメージIPA



(A)	業務の幅を広げる	経験したタスクの範囲を増やす
(B)	その道を究める	特定のタスク領域における診断レベルをアップする 特定のスキル領域における診断レベルをアップする
(C)	新たな技術を身に付ける	保有するスキルの範囲を増やす
(D)	新たな価値創造を目指す	経験のあるタスクや保有するスキルの有効な結合を行う

個人での利用：成長の方向性・目標を設定する

「(A) 業務の幅を広げる」「(B) その道を究める」場合の目標設定

プロジェクト全体を見ていくには、
「プロジェクトマネジメント」の経験や、
開発の上流工程の能力が
課題かな...

目標その1：
「プロジェクトマネジメント」の経験を積む！
目標その2：
開発の上流工程を一人でこなせるようにする
(うちは基盤系は別部署の担当だから対象外にしよう)

タスク大分類	タスク中分類	診断 レベル	L0	L1	L2	L3	L4
アプリケーションシステム開発	ソフトウェア要件定義	L2					
	ソフトウェア方式設計	L2					
	開発環境構築	L3					
	アプリケーション共通基盤設計・構築	L1					
	業務プロセス設計	L3					
	ソフトウェア詳細設計	L3					
システムテスト	ソフトウェアコード作成・単体テスト	L3					
	ソフトウェア結合テスト	L3					
	システムテスト計画策定	L2					
	システムテスト実施	L3					
移行・導入	移行	L1					
	受入れテスト	L3					
	運用テスト	L3					
	導入	L3					
ソフトウェア保守	保守の方針と計画の策定	L0					
	問題の調査と分析	L0					
プロジェクトマネジメント	プロジェクト立ち上げ	L0					
	プロジェクト計画策定	L2					
	プロジェクト追跡と実行管理	L2					
	プロジェクト終結	L1					
	プロジェクト個別の品質マネジメント	L1					
情報セキュリティマネジメント	情報セキュリティ戦略と方針の策定	L1					
	情報セキュリティの運用	L1					
	情報セキュリティの見直し	L1					
品質マネジメント	品質管理のコントロール	L2					
	組織全体の品質マネジメント	L2					
契約管理	契約締結管理	L0					
	契約変更管理	L0					

タスク大分類	タスク中分類	診断 レベル	L0	L1	L2	L3	L4
アプリケーションシステム開発	ソフトウェア要件定義	L2					
	ソフトウェア方式設計	L2					
	開発環境構築	L3					
	アプリケーション共通基盤設計・構築	L1					
	業務プロセス設計	L3					
	ソフトウェア詳細設計	L3					
システムテスト	ソフトウェアコード作成・単体テスト	L3					
	ソフトウェア結合テスト	L3					
	システムテスト計画策定	L2					
	システムテスト実施	L3					
移行・導入	移行	L1					
	受入れテスト	L3					
	運用テスト	L3					
	導入	L3					
ソフトウェア保守	保守の方針と計画の策定	L0					
	問題の調査と分析	L0					
プロジェクトマネジメント	プロジェクト立ち上げ	L0					
	プロジェクト計画策定	L2					
	プロジェクト追跡と実行管理	L2					
	プロジェクト終結	L1					
	プロジェクト個別の品質マネジメント	L1					
情報セキュリティマネジメント	情報セキュリティ戦略と方針の策定	L1					
	情報セキュリティの運用	L1					
	情報セキュリティの見直し	L1					
品質マネジメント	品質管理のコントロール	L2					
	組織全体の品質マネジメント	L2					
契約管理	契約締結管理	L0					
	契約変更管理	L0					

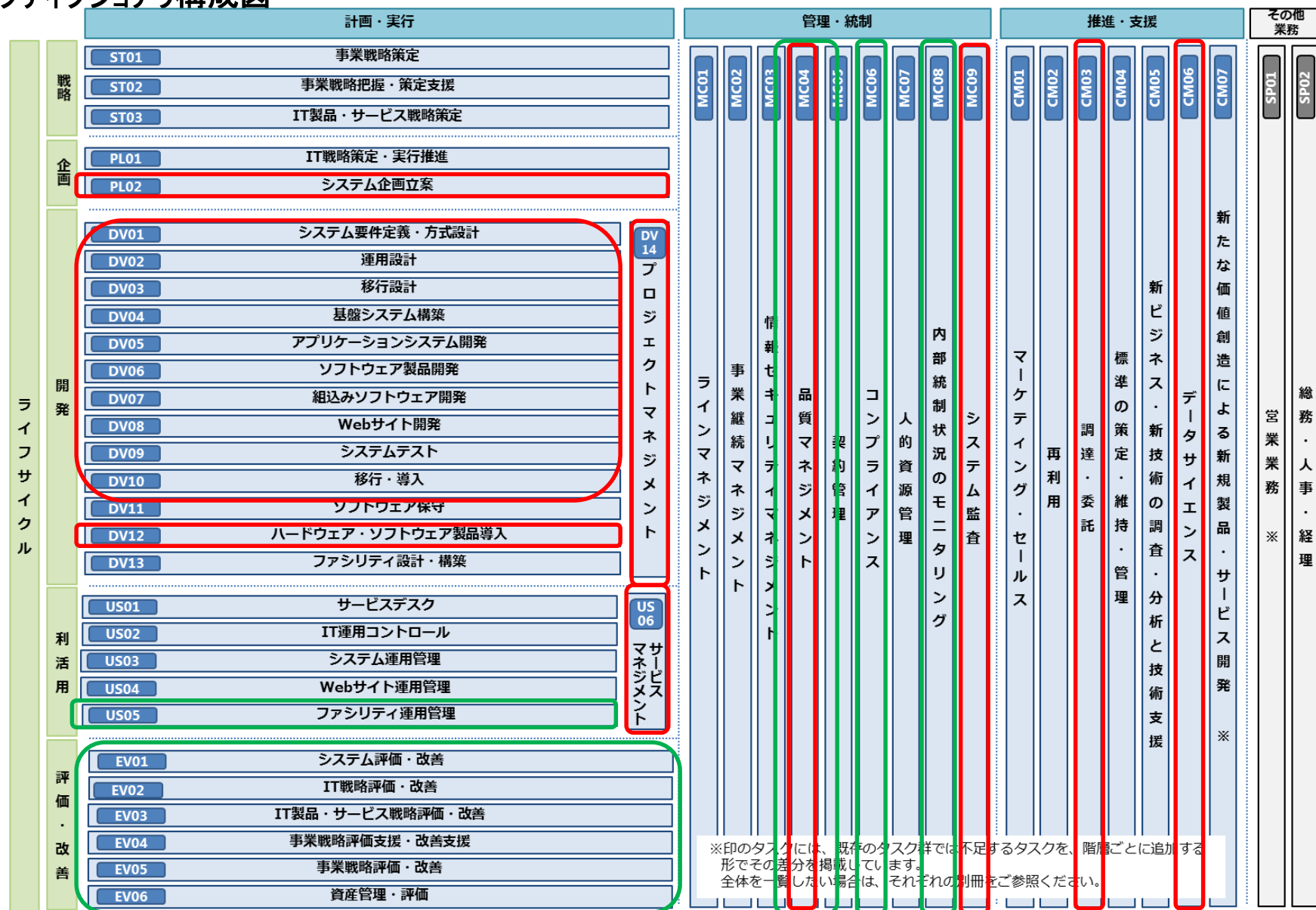
(B)

(A)

(B)

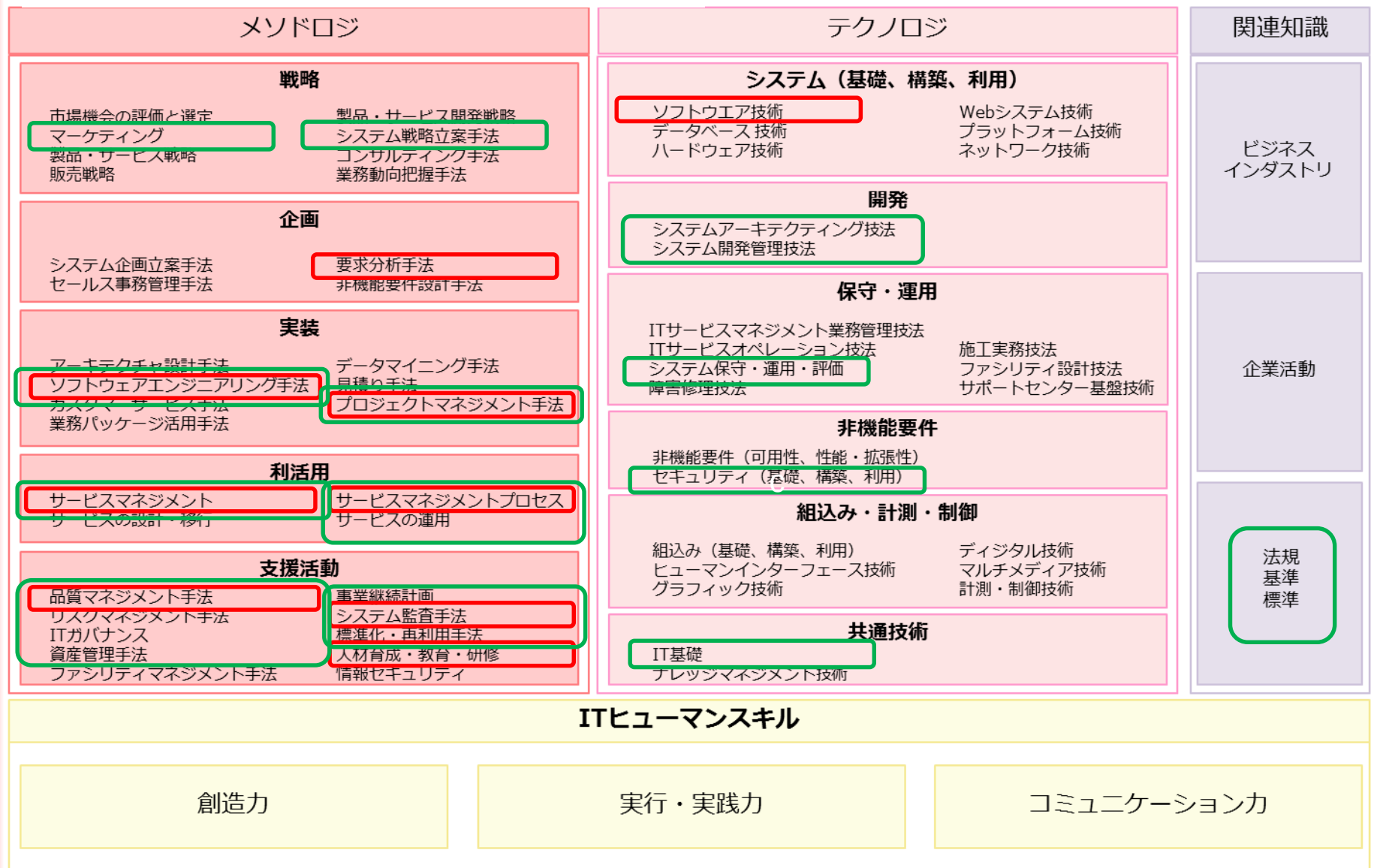
改善(緑)・品質(赤)関連のタスク

タスクディクショナリ構成図



改善(緑)・品質(赤)関連のスキル

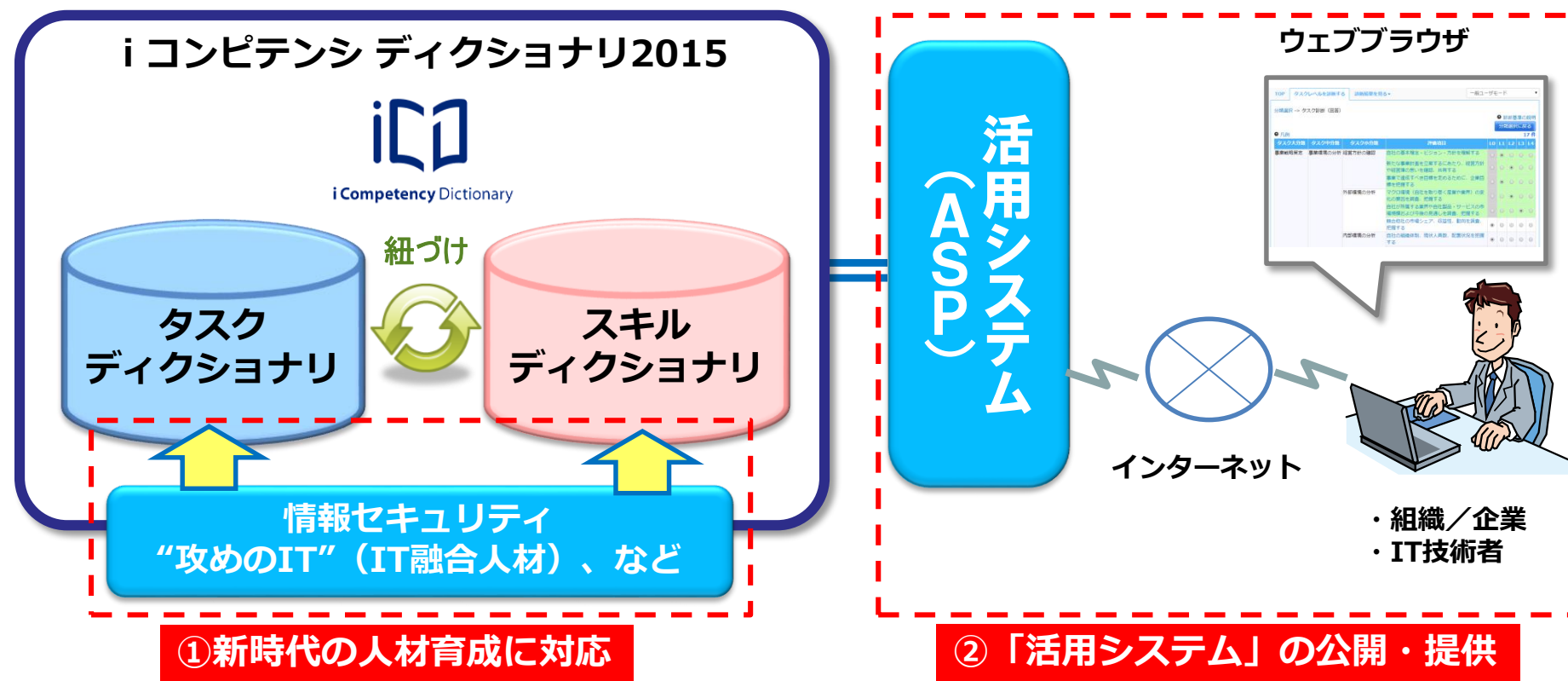
スキルディクショナリ構成図



i コンピテンシ ディクショナリに関する情報

i コンピテンシ ディクショナリ2015と「活用システム」

◇ 企業の目的に応じた人材育成に利用できる「i コンピテンシ ディクショナリ2015」を公開(2015/6/30)



< i コンピテンシ ディクショナリ2015 >

- ・ “情報セキュリティ”、“攻めのIT (IT融合人材)” など、新時代に必要の人材育成に対応 (タスク・スキルを追加)
- ・ 営業、総務/人事/経理について、タスク追加

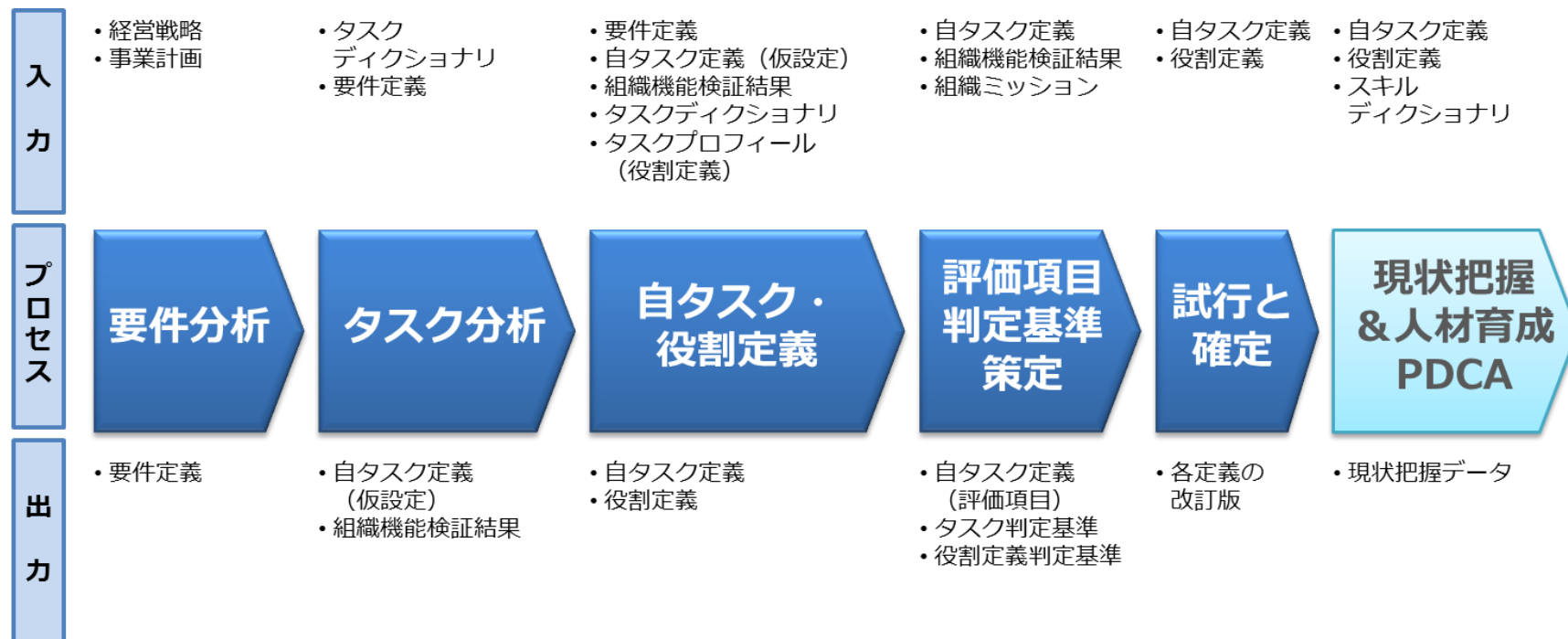
< 活用システム >

- ・ ウェブ上で利用できる「i コンピテンシ ディクショナリ活用システム」の公開・提供

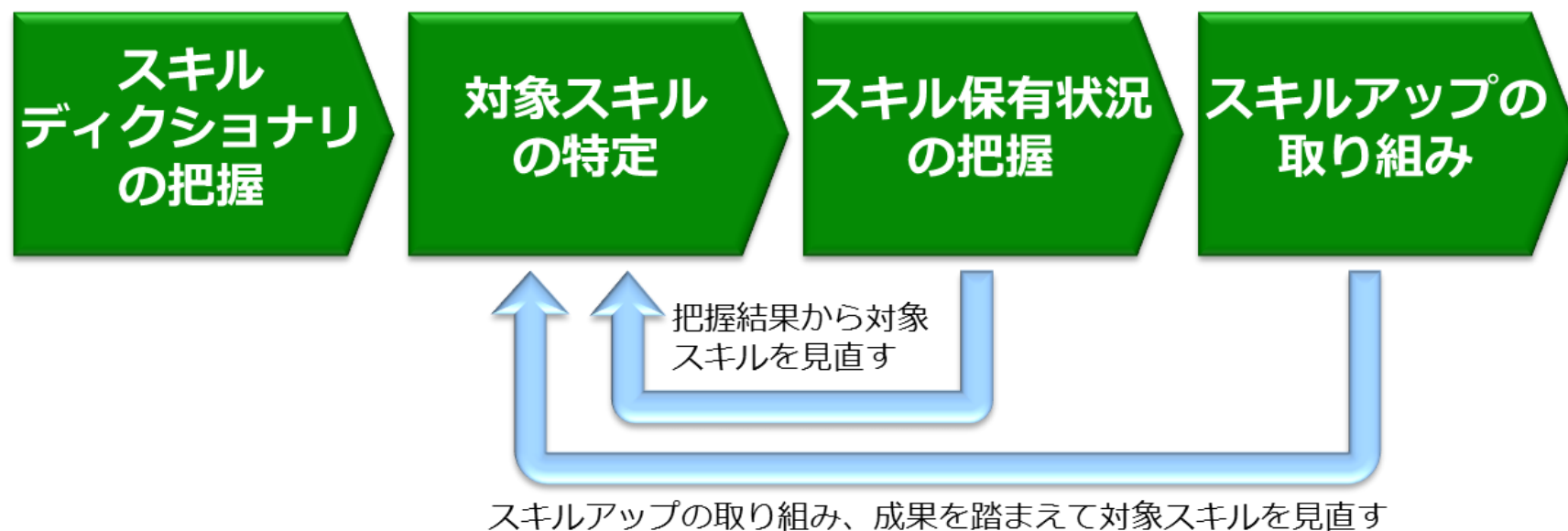
< その他 >

- ・ 海外における利活用も視野に、i コンピテンシ ディクショナリ (試用版) を英訳し公開

タスク編は、解説書P.23の利活用プロセスで利用



スキル編は、解説書P.35の利活用プロセスで利用



i コンピテンシ ディクショナリ2015 サイトイメージ



IPA Better Life with IT 情報処理推進機構

文字サイズ 標準 拡大 検索

・ IPAについて ・ お知らせ一覧 ・ サイトマップ ・ お問い合わせ ・ ENGLISH

HOME 情報セキュリティ ソフトウェア高信頼化 未踏/セキュリティキャンプ IT人材の育成 情報処理技術者試験 国際標準の推進

“頼れるIT社会”の実現を目指して
IPAは「利用者視点に立った複雑、膨大化する情報社会システムの安全性・信頼性の確保」を理念としてさまざまな活動に取り組みます

i コンピテンシ ディクショナリ2015
～未来の競争力のカギとなる人材を創出せよ～

2015年6月30日公表

IPAの活動を
知りたい

調査などの報告書を
読みたい

情報セキュリティ対策を
知りたい

公募・入札情報を
知りたい

ツール・コンテンツを
使いたい

IPAの刊行物を
探したい

情報セキュリティに
関する相談・届出

情報処理技術者試験を
受けたい

イベント・セミナー情報

facebook

Twitter

YouTube

新着配信サービス

IPA Better Life with IT 情報処理推進機構

文字サイズ 標準 拡大 検索

・ IPAについて ・ お知らせ一覧 ・ サイトマップ ・ お問い合わせ ・ ENGLISH

HOME 情報セキュリティ ソフトウェア高信頼化 未踏/セキュリティキャンプ IT人材の育成 情報処理技術者試験 国際標準の推進

HOME > IT人材の育成 > 民間主体による育成の促進 > i コンピテンシ ディクショナリについて

本文を印刷する

IT人材の育成

i コンピテンシ ディクショナリについて

i コンピテンシ ディクショナリ

- i コンピテンシ ディクショナリとは
- i コンピテンシ ディクショナリのダウンロード
- i コンピテンシ ディクショナリ活用システムについて
- 諸団体との連携について

セミナー・イベント情報

- セミナー・イベントのお知らせ

IT人材育成

- IT人材育成事業
- 地域の人材育成支援
- 産学連携
- 民間主体による育成の促進
- i コンピテンシ ディクショナリ
- IT融合人材についての取組

https://www.ipa.go.jp/jinzai/hrd/i_competency_dictionary/index.html

i コンピテンシ ディクショナリ

IPA Better Life with IT 情報処理推進機構

Font Size Change A A 検索

・ About IPA ・ Japanese

HOME IT Security Software Reliability Enhancement IT Human Resources Development Japan Information-Technology Engineers Examination Exploratory IT Human Resources Project Open Standards Promotion

HOME > IPA:IT Human Resources Development

PRINT PAGE

IT Human Resources Development

IPA:IT Human Resources Development

HUMAN RESOURCES DEVELOPMENT

Developing Highly Skilled Human Resources

IT is now an integral part of economic activities and underpins the social infrastructure. At the same time, industry as a whole has become globalized and entered an age of mega-competition that transcends national boundaries. Along with these developments, securing human resources in the IT industry is gradually becoming more difficult.

IT Human Resources Development

- i Competency Dictionary
- Promoting Industry-Academia Collaboration
- Common Career/Skill Framework
- Promotion of Computerization and Development of IT Resources for SMEs

<http://www.ipa.go.jp/english/humandev/index.html>

- IPAサイトよりダウンロード可能です
 - ディクショナリ
 - タスクディクショナリ、スキルディクショナリ
 - ディクショナリ利用を補助するツール
 - タスクプロフィール、タスクプロフィール×タスク対応表、タスク評価の診断基準例
 - 職種一覧、職種×スキル対応表、スキル熟達度判定基準
 - 情報処理技術者試験×スキル対応表
 - 連係情報
 - ディクショナリ間連係
 - 使い方
 - 解説書
 - タスクセット作成のツール(Excelマクロ)
 - 活用ツール操作説明書
 - CSVデータ
 - データセット
 - 人材別タスク・スキル
 - IT融合人材、情報セキュリティ人材
 - 営業業務、総務・人事・経理
 - 英訳版
 - タスクディクショナリ(第2階層)、スキルディクショナリ(第2階層)

※以下はお申し込みにて利用できます。
「iCD活用システム(タスク編)」
「iCD活用システム(スキル編)」
「iCD活用ツール」(Excelマクロのツール)
「英訳版(第4階層)」

ご清聴ありがとうございました

- HRDイニシアティブセンター ホームページ
URL: <http://www.ipa.go.jp/jinzai/hrd/index.html>
- i コンピテンシ ディクショナリ ページ
URL: https://www.ipa.go.jp/jinzai/hrd/i_competency_dictionary/index.html
- i コンピテンシ ディクショナリ ダウンロードページ
URL: http://www.ipa.go.jp/jinzai/hrd/i_competency_dictionary/download.html
- i コンピテンシ ディクショナリ 活用システムページ
URL: https://www.ipa.go.jp/jinzai/hrd/i_competency_dictionary/system.html